

# 郷土教育推進研究報告書

令和4年度（2022年度）

## 「郷土日野」指導事例

～ 第17集 ～



日野市立教育センター

郷土教育推進研究委員会

# 目 次

|       |                                                      |       |
|-------|------------------------------------------------------|-------|
| ごあいさつ | 〈長崎将幸：教育センター 所長〉・・・・・・・・・・・・・・・・・・                   | 1     |
|       | 〈斎藤境栄：郷土教育推進研究委員会委員長 東光寺小学校 校長〉・・・・・・・・・・            | 1     |
| I     | 研究の構想・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・                | 2     |
| 1     | 研究の主題                                                | 2     |
| 2     | 研究主題に迫る授業像                                           |       |
| II    | 研究組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・                 | 3     |
| III   | 研究経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・                 | 3     |
| IV    | 実践事例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・                 | 4～34  |
| 1     | Aグループの研究                                             |       |
|       | 「郷土の歴史や自然の素晴らしさを発見し課題を見付け追究できる児童の育成」・・・・・・・・         | 4～14  |
|       | 「郷土の発展につくす人々」「広げよう！ぼくたち、わたしたちの世界」「発見！地域の宝」「七小防災」     |       |
|       | 「日野市のいいところ見つけ」 成果と課題 学習指導案                           |       |
| 2     | Bグループの研究                                             |       |
|       | 「魅力を知り、関わりをもち、発信するひのっ子を目指して」・・・・・・・・・・・・・・・・         | 15～22 |
|       | 「万願寺の渡し公園」「身近な用水について考えよう」「鉄道と共に発展した七生村」「水の郷日野市」      |       |
|       | 成果と課題 学習指導案                                          |       |
| 3     | Cグループの研究                                             |       |
|       | 「郷土をもっと知ろうとする幼児、児童の育成」・・・・・・・・・・・・・・・・               | 23～32 |
|       | 「平山陸稲を育てよう」「Let's go すずかけ米大作戦」「地域の工業調査隊！」「日野市に伝わる昔話を |       |
|       | 知ろう！」「ChangeFood ～身近な食品ロスについて考えよう～」成果と課題 学習指導案       |       |
| 4     | Dグループの研究                                             |       |
|       | 「1～16指導事例集の分類化 各教科で活用できるように」・・・・・・・・・・・・・・・・         | 33～34 |
| V     | 1課2館との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・                     | 35～37 |
| 1     | 平山陸稲栽培・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・                       | 36    |
| 2     | 図書館の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・                       | 37    |
| VI    | 研究の成果と今後の課題・・・・・・・・・・・・・・・・                          | 38    |
| VII   | 個人研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・                         | 39～42 |
|       | 編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・                         | 43    |

## ～ ご あ い さ つ ～

### 第17集の発刊にあたって

日野市立教育センター所長 長 崎 将 幸

本年度の郷土教育推進研究委員会の研究も、昨年度に引き続きコロナ禍により、様々な制約があるなかでの活動となりました。しかし、通常のエデュケーション活動に戻りつつある中、研究主題である「郷土への愛着を高め、地域と共に生きようとするひのっ子の育成」に基づき夏季フィールドワーク、授業研究を計画的に実施することができました。さらに今年度は今まで蓄積してきた「郷土日野指導事例」を有効活用できるように検索システムを構築することができました。各校では第3次日野市学校教育基本構想は4年目を迎え、探究的な学びを目指して総合的な学習の時間の見直しを図っているところです。本検索システムは、各校のカリキュラム作成の参考資料として役立てることができると期待しています。また、昨年度に続き、1課2館（ふるさと文化財課、図書館、中央公民館）との連携を進め、専門的知見に基づいた指導につながりました。このような今年度の研究活動を踏まえ、郷土教育推進研究委員会（東光寺小学校校長 齊藤境栄委員長）がとりまとめ編集した『「郷土日野」指導事例～第17集～』を発行することとなりました。

最後に、郷土教育推進研究委員会に参加してご努力いただいた現場の先生方はじめ、各委員の皆様、顧問の先生、そして子供たちのために様々な連携をしていただいたふるさと文化財課、図書館、中央公民館に深く感謝申し上げます。

### 研究で得たことをいかす・これまでの研究をいかす

郷土教育推進研究委員会委員長

日野市立東光寺小学校 校 長

齊 藤 境 栄

新型コロナウイルス感染症の感染症予防対策を講じながら、郷土教育推進研究委員会の研究を進めて参りました。ご指導いただきました顧問の皆様方をはじめ、委員の選出をいただいた各学校、ふるさと文化財課、中央公民館、図書館の皆様感謝申し上げます。

夏季フィールドワークでは、東光寺地区を巡りました。地域の文化財、建物、土地利用、地域を知ることにより、郷土教育が始まることを感じました。各学校の委員の先生方が、フィールドワークで地域のことを深く知るための方法やその意義を知り、自校の地域を改めて見直し、授業作りにいかすことができました。3グループによる研究授業にもそのことが反映されていました。

今年度は、過去16の事例集に掲載されている指導事例を分類、整理してデータ化し、各教科を一覧にした年間指導計画事例集を作成する取組が始まりました。これまで蓄積された貴重な事例をこれからの授業に活用していただくために作業を進めていて、資料を閲覧いただけることになりました。

各学校の委員の先生方は、長年日野市に勤務している方もいれば、私と同様に今年度日野市に異動してきた方もいました。その中で、郷土・日野に関心を持ち、地域を知ることによって授業を構想し、準備し、実践することが大切であることを学ぶことができたように思います。今後のますますの研究の深まりと先生方、子供たちの学びが深まることを期待しています。

## ～郷土教育推進研究～

### I 研究の構想

#### 1 研究の主題 「郷土への愛着を高め、地域と共に生きようとするひのっ子の育成」

第3次日野市学校教育基本構想（2019～2023 年度）には、

- ・「疑問や驚きから生まれる問いを大切に、自分たちなりの方法で、自分たちなりの答えにたどり着く過程を大切にします。」
- ・「子供たちは、地域で自分を感じ、自分を育て、自分の生き方をつかみ取っていく。」
- ・「子供たちは、ふるさとひのでの活動を土台として、その先の世界へ飛び出していきます。」
- ・「先生や大人は学びの促進者です。問いを深めてくれたり広げてくれたり、いろいろな考え方に合わせてくれます。」

など、郷土教育に深く関わる項目や、教育活動を進めていく上で大事にすべき事柄が示されています。

そこで、郷土教育推進研究委員会（以下、委員会）では、研究主題を「郷土への愛着を高め、地域と共に生きようとするひのっ子の育成」として、郷土教育の進め方を創意工夫し、郷土教育を通して第3次日野市学校教育基本構想に迫ろうと考えました。

#### 2 研究主題に迫る授業像

委員会では、研究主題の内容を皆が共通理解して研究を進めることが大事であると考え、研究主題に迫る授業像を下表のように明らかにし、共有しました。

|               | 郷土への愛着を高める児童                                                                                                                                                                                                                                                          | → | 地域と共に生きようとする児童                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 授業で獲得が期待されること | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 郷土の人・こと・ものを知る。</li> <li>・ 郷土を身近に感じる。</li> <li>・ 郷土の良さや素晴らしさに感動する。</li> <li>・ 郷土を誇りに思う。</li> <li>・ 郷土の大切さ、かけがえのなさを感じる。</li> <li>・ 郷土の人々とつながる。</li> <li>・ 郷土に育まれ、郷土の一員である自分を自覚する。</li> </ul> <p>※「愛着」・・・心がひかれて、大切にしたいという思い</p> |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 郷土を大切にしようと感じる。</li> <li>・ 郷土の営みに協力しようと思う。</li> <li>・ 郷土に貢献しようと思う。</li> <li>・ 郷土を元気にしよう考える。</li> <li>・ 郷土を発展させよう考える。</li> <li>・ 郷土に育まれ、そこで生活している自他を大切にしよう考える。</li> <li>・ 自己の郷土への思いを発信し、郷土を愛する仲間を増やそう考える。</li> <li>・ 郷土で培われた自己の個性を生かし、将来他地域や外国においても自己の務めを果たすことができる資質を育む。</li> </ul> |
| 育みたい学習態度      | <p>～主体的・対話的で深い学び～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自ら課題、自ら解決…探究的に学習する。</li> <li>・ 人と関わることによって、考えを深めたり、新たな情報を得たり、協力・分担して研究したりする。</li> <li>・ ものごとを自分との関りでとらえる。</li> <li>・ 学んだことを通して自己の生き方を考える。</li> <li>・ 学んだことを発信する。</li> </ul>                            |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

## II 研究組織

|     |              |       |               |
|-----|--------------|-------|---------------|
| 役員会 | 教育センター所長     | 正留 久巳 | 12/1～長崎 将幸    |
|     | 委員長          | 斉藤 境栄 | (東光寺小学校長)     |
|     | 副委員長         | 秋田 克己 | (旭が丘小学校副校長)   |
|     | 指導主事         | 加藤 信秀 | (日野市教育委員会学校課) |
|     | 郷土教育コーディネーター | 高橋 清吾 | (教育センター)      |
|     | 郷土教育担当       | 尾形 斉  | (教育センター)      |

|       |     |       |             |
|-------|-----|-------|-------------|
| Aグループ | 世話人 | 柳井 大輔 | (日野第一小学校)   |
|       |     | 磯村 俊介 | (豊田小学校)     |
|       |     | 林谷健太郎 | (日野第五小学校)   |
|       |     | 若林 裕登 | (日野第七小学校)   |
|       |     | 関 嘉晴  | (東光寺小学校)    |
|       |     | 高橋 秀之 | (ふるさと文化財課)  |
|       | 顧問  | 小杉 博司 | (元日野第一小学校長) |

|       |     |        |            |
|-------|-----|--------|------------|
| Bグループ | 世話人 | 河合 英恵  | (夢が丘小学校)   |
|       |     | 渡辺 大   | (日野第四小学校)  |
|       |     | 金谷 聡士  | (潤徳小学校)    |
|       |     | 森田 捺美  | (日野第八小学校)  |
|       |     | 白川 未来  | (ふるさと文化財課) |
|       |     | 長谷川 正  | (中央公民館)    |
|       | 顧問  | 吉野 美智子 | (元百草台小学校長) |

|       |     |       |                |
|-------|-----|-------|----------------|
| Cグループ | 世話人 | 澤久保 敦 | (平山小学校)        |
|       |     | 田中理紗子 | (第七幼稚園)        |
|       |     | 北川のぞみ | (日野第六小学校)      |
|       |     | 小高 圭太 | (南平小学校)        |
|       |     | 浅野 佑弥 | (旭が丘小学校)       |
|       |     | 飯田 千尋 | (多摩平図書館)       |
|       | 顧問  | 曾田 満  | (元渋谷区立常磐松小学校長) |

|       |     |       |            |
|-------|-----|-------|------------|
| Dグループ | 世話人 | 佐藤 健太 | (滝合小学校)    |
|       |     | 澤井奈々子 | (日野第三小学校)  |
|       |     | 柿崎麻里子 | (仲田小学校)    |
|       |     | 村岡 竜二 | (七生緑小学校)   |
|       | 顧問  | 川島 清美 | (日野第三中学校長) |

## III 研究経過

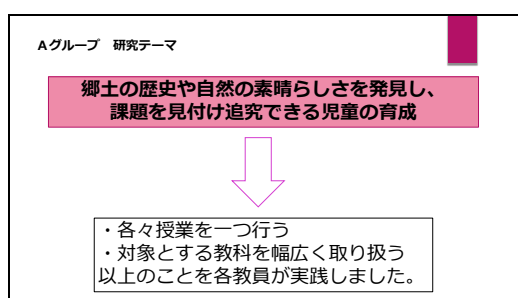
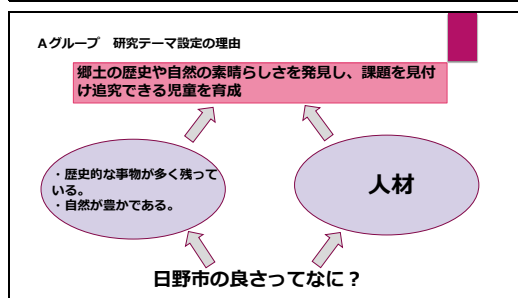
| 月・日・曜  | 活 動 内 容           | 月・日・曜   | 活 動 内 容          |
|--------|-------------------|---------|------------------|
| 5・17・火 | 委嘱状及び辞令伝達、顔合わせ    | 10・25・火 | A・Bグループ研究授業      |
| 6・28・火 | グループ研究            | 11・29・火 | Cグループ研究授業        |
| 7・27・水 | 夏季研修、日野用水フィールドワーク | 12月     | 研究の成果と課題個人案作成    |
| 9・20・火 | グループ研究、指導案検討      | 1～2月    | 研究のまとめ、プレゼンデータ作成 |

## Ⅳ 実践事例

### 1 Aグループの研究

令和4年度  
**Aグループ**  
郷土の歴史や自然の素晴らしさを発見し課題を見付け追究できる児童の育成

|     |       |             |
|-----|-------|-------------|
| 世話人 | 柳井 大輔 | (日野第一小学校)   |
|     | 磯村 俊介 | (豊田小学校)     |
|     | 林谷健太郎 | (日野第五小学校)   |
|     | 若林 裕登 | (日野第七小学校)   |
|     | 関 嘉晴  | (東光寺小学校)    |
|     | 高橋 秀之 | (ふるさと文化財課)  |
| 顧問  | 小杉 博司 | (元日野第一小学校長) |



東光寺小学校 4年 社会科 関 嘉晴

他教科との関連

地域の発展に尽くした人々について、身近な生活との関連を導き出して学習した。  
総合的な学習の時間での学習事項にも触れ、教科横断的に学習に取り組み、興味関心を高める手立てとした。  
・東光寺大根  
・なし園  
※3年時の学習

郷土の発展につくす人々

玉川上水の発展には、玉川兄弟の尽力があり、江戸まで水を運ぶことができた。そのおかげで江戸は発展したことを学習。  
人が住む町が誰かの願いや努力の基に発展したことに触れ、自分たちの住む東光寺地区は、どのように発展してきたかという新たな課題設定につながった。

東光寺小学校 4年 社会科

話し合い活動

・話し合い活動から、自分たちの地域について考えることができた。

地域の良さで出た例

・自然が多い  
・大根  
・公園

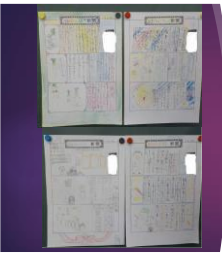
ここから、新たな課題設定として、自分たちの地域の良いところを尽くしてきた人ってどんな人だろうか？と子供たちから出たかった。(今回の実践での改善点)

Aグループは今年度このような研究テーマを設定しました。日野市の良さを話し合い、Aグループで出たものが楕円内のものです。・歴史的な事物が多く残っている。自然が豊か。豊富な人材。が挙げられました。これらを学習の中に取り入れていく中で、子供自身が日野市の良さを発見し、その中で自分たちの課題や日野市の課題を見つけることができ、それを追究する児童を育成していきたいと結論になりました。

各教員が各々実践するにあたり、対象とする教科の幅を広げて扱うこと、各学校に合った実践と教科で実践することにしました。

Aグループでは、5つの授業実践をしました。1つ目の東光寺小学校で研究授業を行いました。社会科での実践となり、東光寺地区での郷土教育にしていこうとグループで決定しました。3年生の時に学習した、東光寺大根、梨園での学習と4年生での玉川上水の授業で学んだことと関連づけました。東光寺地区に流れる日野用水など、自分たちの住む地域の発展に尽くしてきた人々について考える学習を展開しました。

話し合い活動の中で、東光寺地区の良さがたくさん出ました。やはり自然が多いことや東光寺大根が多く出てきました。ここで、つぎの課題を自分たちから考えさせたかったのですが、そこまで至らず次の課題となりました。



まとめ

東光寺地区の一員として、自分たちができることを考え、新聞にまとめた。

成果

児童たちが、自分たちの地域のよさに触れて学習したことで、地域に対しての興味関心が少しでも高めることができた。

課題

- ・発表の方法は改善したほうがよい。
- ・児童たちがより自分たちで主体的に学習する方法を考え直す。

成果と課題です。児童たちが自分たちの住む地域に興味をもち次につながる実践ができました。ただもっとよい方法があったと感じたので、さらによりものを実践できるよう、郷土教育を行っていきたいと考えています。

日野市立豊田小学校 3年 総合的な学習の時間

単元名 広げよう！ほくち、わたしたちの世界

単元のめあて

- ・自分たちの住んでいる地域には何があるのか理解する。
- ・自分から、多くの人と触れ合い、地域の良さを知り、地域に関わりをもとうとする。

実際にいった場所

|        |         |
|--------|---------|
| 豊田駅    | 中央図書館   |
| 豊田商店   | 藤森園     |
| ふたば幼稚園 | 芝居保育園   |
| 豊田清流公園 | 浅川      |
| 豊かな里   | 大貫農園    |
| 南平児童館  | セブンイレブン |
| コブみらい  |         |

2つ目の豊田小学校では、総合的な学習の時間で、豊田駅や中央図書館、地域の商店等へ行き、自分たちが地域のためにできることを考えて活動しました。

日野市立豊田小学校 3年 総合的な学習の時間

実際の活動の様子



中央図書館では、書架の整理や掃除など、自分達にできることを考えて取り組んだ。取り組みを重ねるたびに、「今度はこういうことをしてみたい」という思いをもち、主体的に活動に取り組む姿が見られた。



豊田駅では、駅の周りの掃除や、駅の施設の見学を行った。また、1回目の活動を終えると、「駅員さんや駅を利用している人のためにポスターを作りたい」という新たな思いをもった。

計3回の活動を行うなかで、地域の「人」「もの」「こと」に対する関心が高まり、主体的に取り組むことができました。

日野市立豊田小学校 3年 総合的な学習の時間

成果

- ①自分から、多くの人と触れ合い、地域に関わりをもとうとすることができた。
- ②自分たちが生活している地域の良さに関心を向けることができた。
- ③地域のために頑張りたいという思いをもち、実践することができた。

課題

- ①施設によっては十分に関わりをもつことができなかった。

成果と課題です。  
成果として3点挙げます。  
1点目は主体的に地域の人に関わることができたことです。2点目は自分たちが生活している地域の良さに関心を向けることができたことです。3点目は地域のために何かしたいという気持ちをもち、主体的に活動できたことです。  
課題としては、施設によっては十分なかかわりをもつことができなかったことが挙げられます。  
連絡を密にとったり、できることを模索しながら活動を広げられるとよかったと考えています。

日野市立日野第五小学校 5年 総合的な学習の時間

発見！地域の宝

日野第五小学校では、地域で働く人々や地域に携わっている人々との関わりを通して、町づくりのために尽力してきた人々の思いや願いを理解し、地域の一員としてよりよい町を未来につなげていくために自分たちにできることを考え、実践しようとする態度を養うことを目標として設定している。

3つ目の日野第五小学校では、町散策を行い、感じたことやみつけたことをもとに、日野市をよりよくしていくためにどうすればよいかを考えました。

日野市立日野第五小学校 5年 総合的な学習の時間

**町散策**

学習に適した地域の人々や町と関わる場面を設けた。  
関わる以前は、「おすすめの場所を教えてください。」という問いに対して、答えが自分が日常的に行っている場所に限定されていた。繰り返し町散策を行うことで、魅力を見つける視野が広がった。特に、「挨拶してくれた」「店の人が優しく対応してくれた」など、地域に在る「人」に関心が高まった。



繰り返し町散策を行うことで、魅力を見つける視野が広がりました。特に、「店の人が優しく対応してくれた」など、地域に在る「人」に関心が高まりました。

日野市立日野第五小学校 5年 総合的な学習の時間

**掲示物による学びの蓄積**

町を歩いて撮った写真や気付いたことは、地図を印刷したものに随時張り付けて教室に掲示しました。児童が定めた地域のよさの4つの視点、「人」「子供」「環境」「店」で色別のシールを貼ることで傾向を視覚的に分かるようにしました。  
毎日見ることができ、児童自身が更新していく掲示物は、日常会話の中でも町の様子が話題になることもあった。



町を歩いて撮った写真や気付いたことは、地図を印刷したものに随時張り付けて教室に掲示しました。児童が定めた地域のよさの4つの視点、「人」「子供」「環境」「店」で色別のシールを貼ることで傾向を視覚的に分かるようにしました。  
毎日見ることができ、児童自身が更新していく掲示物は、日常会話の中でも町の様子が話題になることもありました。

日野市立日野第五小学校 5年 総合的な学習の時間

**学習者用端末による話し合い活動**

友達同士の意見や気付いたことは、学習者用端末を用いることで、個人の意見を一言に共有することができた。発言が不確かな児童でも、自分の意見を表現できることから、一人一人が当事者意識をもつことができた。  
また、話し合いに使ったデータは、共有のフォルダに蓄積し、児童が必要に応じていつでも見られるようにした。自分と事実とのつながる機会を多く設けることで、課題を自分のこととして考えることができた。



「学習者用端末も活用しています。」

日野市立日野第五小学校 5年 総合的な学習の時間

**成果と課題**

**成果**

- 自分たちが自身で歩き直接関わった経験から新たな視点をもてるようになった。
- 学習者用端末の利用で一人一人が当事者意識をもつことができた。

**課題**

- 児童の個の思いに応じた学びに対応するための場の設定が今後も必要である。

成果と課題です。  
成果については2つあります。  
・自分たちが自身で歩き直接関わった経験から新たな視点をもてるようになりました。  
・学習者用端末の利用で一人一人が当事者意識をもつことができました。の2点です。  
課題については  
・児童の個の思いに応じた学びに対応するための場の設定が今後も必要であります。

日野市立日野第七小学校 4年3組 総合的な学習の時間 (令和4年12月14日実施)

**七小防災**

**他教科との関連**

- 社会科  
「自然災害から人々を守る」  
そなエリアでの防災体験  
日野市防災情報センターインタビュー
- 理科  
「浅川でのカサカサ体験」

**防災行動計画（マイトimeline）**



4つ目の日野第七小学校では、総合的な学習の時間で「七小防災」をしました。もし日野市で地震が起こった際にどのような行動をすればよいのか「地震の防災行動計画（マイトimeline）」を作る学習をしました。日野市防災情報センターへインタビューも行いました。児童一人一人がマイトimelineを作成し、家庭へ持ち帰り共有しました。こうした活動を通して日野市の防災に対する関心が向きました。

## 日野第一小学校 3年 総合的な学習の時間

### 単元名「日野市のいいところ見つけ」

単元のめあて 自分の住む地域のよさを見つけ、友達につたえよう  
日野第一小学校3学年は、自分たちの住む地域のよさを見付け、それらを発信することをめあてとして学習を行った。

児童たちが実際にその場所へ行き、話を聞いたり質問したりした。実際に見て、聞いて触って学習することで、より深く学べると考えた。

実際に行ったところ

- ・日野宿本陣
- ・日野駅
- ・仲田の森

5つ目の日野第一小学校の実践では、総合的な学習の時間に取り組みました。本年度のめあては「自分の住む地域のよさを見つけ、伝える」になっています。様々な郷土あふれるものを見学しに行きました。

## 日野第一小学校 3年 総合的な学習の時間



どんぐりクラブさんの授業

体育館での外部講師による、日野市の生き物について授業を行った。児童たちは、自分の経験を基に、様々なことを考える、発言した。



仲田の森で自然に触れる

仲田の森では、生き物に直接触れたり、遊具を使った遊びなどを行った。



日野宿本陣見学

日野市の建築物の中でも歴史的な学舎ができた。郷土資料館の方に案内をしていただいた。児童たちからたくさん質問が出ていた。

日野市の生き物をどんぐりクラブさんに授業をしてもらったり、仲田の森へ行き直接触れたりしました。日野宿本陣では、郷土資料館の高橋さんから詳しく歴史を教えてくださいました。実際に見て、触れて体験したことで、日野市には知らないだけでいろんなものがあることに気付き、とても興味がわいた様子でした。児童たちはこの授業を通して、日野市の郷土に対して様々な角度から興味をもつことができ、情報を集め、様々な人に情報を発信することができました。次の学年の向けてもよい学びができました。

今回の成果と課題です。

他クラスへの発表で自分たちの課題であった、情報の発信ができるようになってきました。

・地域の一員として興味関心が出てきたように見えました。・子供たちは日野市には教材がおおくあることに気付きました。・郷土のすばらしさを発見することができました。以上が成果です。

次に課題です。

日野市内でも多くの教材があるが、じぶんの地域のものを取り扱い、学習方法を適宜検討しなければならないと今回の研究で課題が挙がりました。

## 成果と課題（Aグループ）

### 成果

- ・異学年や他クラスへの発表を行うことで、郷土について学習したことや考えたことを発信できた。
- ・自分の住んでいる地域のよさを考えることで、地域の一員としての自覚が芽生えてきた。
- ・教科書だけでは学べないことを、実際に見学することで諸感覚を使って学ぶことができた。

### 課題

- ・地域によって郷土資料が変化するので、実際に見にいくなことができないものもある。その場合の学習方法を検討しなければならない。
- ・発信の仕方に差がないような方法を設ける必要がある。

# 社会科学習指導案

日 時 令和4年10月25日  
5校時 13:35～14:20  
学校名 日野市立東光寺小学校  
対 象 第4学年2組 25名  
会 場 3階 4年2組教室  
授業者 関 嘉晴

研究主題「郷土への愛着を高め、地域と共に生きようとするひのっ子の育成」  
～郷土の歴史や自然の素晴らしさを発見し、課題を見つけ追究できる児童の育成～

## 1 単元名 「郷土の発展につくす人々」（小学校社会 4年）

## 2 単元の目標

- ・地域の発展に尽くした人々について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ・地域の伝統と文化の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- ・地域の発展に尽くした人々について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

## 3 単元の評価規準

| ア 知識・技能                                                                                                                                                                 | イ 思考力・判断力・表現力等                                                                                                                                                                     | ウ 主体的に学習に取り組む態度                                                                                                                                                                                  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・玉川上水を開いた背景には、玉川兄弟や人々の様々な願いが込められていることを理解できる。</li> <li>・東光寺地域の伝統や文化について、地域を見学・調査したり地図や本などの資料を使って調べたりして、年表などにまとめることができる</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・玉川兄弟の計画や工事の内容などに着目して、玉川上水の歴史や役割を捉え、江戸の人々の願いや努力を考え、表現できる。</li> <li>・地域の伝統や文化を保護したり継承したりするために自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりすることを表現できる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・東光寺地域の発展に尽くした人々について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</li> <li>・学習したことをもとに、地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりしようとしている。</li> </ul> |

## 4 指導観

### (1) 単元観

小学校学習指導要領 社会 （第4学年の内容より抜粋）

- (4) 県内の伝統や文化、先人の働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
- (ア) 県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解すること。
- (イ) 地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解すること。
- (ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。
- イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
- (ア) 歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現すること。
- (イ) 当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現すること。

ここでは、県内の伝統や文化に関する内容と先人の働きに関する内容から構成されている。日野市や東光寺地域の伝統や文化に関する内容については、アの（ア）及び（ウ）とイの（ア）を関連付けて指導する。先人の働きに関する内容については、アのイ及びウとイのイを関連付けて指導する。

文化財や年中行事については、それらを保存したり継承したりしている人々から直接話を聞く活動などが考えられる。また、先人の働きについては、先人が用いた道具や技術に見られる工夫、実際の取組の様子、当時の社会に与えた影響などを調べる活動などが考えられる。

## （２）児童観

本学級は、放課後や休日に地域の公園や施設などで遊ぶ児童が多く、用水や豊かな自然も身近にあり、充実した日常生活を送っている。３年生では「東光寺大根の収穫」や「なしの収穫」など、主に地域の農家の方の仕事を体験している。４年生の１学期では「用水見学」を行った。東光寺小学校の近くにある用水がどこを流れているのか、目的や用途は一体何だろうかなどを課題として学習した。多くの児童が興味・関心をもち、用水見学を意欲的に行い、学習のまとめでは絵や図などを使って、用水の事について分かりやすく説明しながら発表することができた。

本単元では、より児童の学習意欲を高めるために、資料の提示の仕方や学習活動を工夫し、主体的に課題に追究できるようにする。また、調べ学習では実際に見学・調査したことだけでなく、クロームブックで調べたり、図書館から取り寄せた郷土資料を参考に歴史や文化に触れさせたりしていく。東光寺という自分たちのふるさとにより愛着がもてるように学習していく。

## （３）教材観

本教材は、郷土教育推進教育委員会Ａグループのテーマである「郷土の歴史や自然の素晴らしさを発見し、課題を見つけ追求できる児童の育成」を目指す。日野市や東光寺地域の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを考えさせる。文化財や年中行事を保存・継承していくために自分たちができる取り組みを追究していきたい。

また、東光寺地域の歴史や自然に触れるために見学・調査したり、本や地図などで調べたことを新聞や年表などにまとめたりして、郷土である日野の課題や良いところを理解し、発表することで地域社会の一員としての自覚を養いたい。

## ５ 単元の指導計画と評価計画（全１２時間）

| 時間     | 目標                                               | 学習活動・学習内容                                                                                           | 評価規準                                                                           |
|--------|--------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| １      | 玉川兄弟が玉川上水を開き、人々の生活がどう変わったのかを予想し、学習の見通しをもつことができる。 | ① 身近にある日野用水の歴史と玉川上水の歴史を関連づけ、人々の生活がどう変わったのかを予想する。<br>② 玉川上水を開いた先人である玉川兄弟のことについて学習の見通しをもつ。            | 【思】玉川兄弟の計画や工事内容から予想を立て、自分の考えをもち、表現できる。                                         |
| ２<br>３ | 玉川上水について資料を活用して、玉川兄弟や江戸時代の人々の願いや思いを捉えることができる。    | ① 玉川兄弟が行ったことを学習し、願いや思いについて考える。<br>② 玉川上水の水路や工事の様子を見て、どのように行われたか調べる。<br>③ 江戸の町の人々の暮らしから願いや思いについて考える。 | 【知】玉川上水のことについて、資料などを活用して調べ、まとめることができる。<br>【態】主体的に玉川兄弟や江戸の町の人々の願いや思いを考えようとしている。 |

|           |                                                 |                                                                                                       |                                                                                                 |
|-----------|-------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4         | 玉川兄弟の働きについて考え、地域の発展に大きな影響を与えた人物であることを理解できる。     | ① 玉川上水がどれだけくらしを変えたか様子を捉える。<br>② 玉川兄弟の働きについてまとめる。<br>③ 次時からの東光寺地域の発展について見通しをもつ。                        | 【思】くらしを変えた玉川上水の様子を捉え、玉川兄弟や江戸の人々の願いや努力を考え、表現できる。<br>【態】学習したことをもとに、玉川上水の保存や継承に関わろうという意識をもとうとしている。 |
| 5<br>(本時) | 東光寺地域のよいところを考え、発展に尽くした人々に対する疑問をもつことができる。        | ① 東光寺のよいところを昨年度や今年度の総合の体験から思い出す。<br>② 東光寺のよいところを考える。<br>③ 東光寺の発展に尽くした人々について疑問をもつ。                     | 【知】東光寺地域のよいところや地域発展に尽くした人々について考え、理解できる。                                                         |
| 6<br>7    | 東光寺地域の発展に尽くした人々について資料を使って調べ、人々の願いや思いを捉えることができる。 | ① 自分が調べたい人々を決め、学習の見通しをもつ。<br>② 資料を活用して、東光寺地域の人々について調べる。                                               | 【知】東光寺地域のことについて地図や本などの資料を活用して調べ、まとめることができる。<br>【態】東光寺の発展に尽くした人々について主体的に学習問題を追究しようとしている。         |
| 8<br>9    | 東光寺地域の発展に尽くした人々についてまとめ、願いや思いを理解できる。             | ① 調べたことを整理する。<br>② 新聞に東光寺地域の発展に尽くした人々についてまとめる。<br>③ 調べたことや感想から願いや思いについて考える。                           | 【思】地域の発展や人々に着目して、様子を捉え、願いや思いについて考え、表現できる。                                                       |
| 10<br>11  | 東光寺地域の発展に尽くした人々について話し合い、交流することで理解を深めることができる。    | ① 新聞を完成させる。<br>② 周りの友達のまとめた新聞を見る。<br>③ 気付いたことや感想などを伝え合い、理解を深める。                                       | 【知】東光寺地域の発展に尽くした人々について、新聞にまとめることができる。<br>【態】主体的に友達と考えを伝え合い、学習の理解を深めようとしている。                     |
| 12        | 東光寺地域の一人として、自分にできる地域の発展を考え、希望をもつことができる。         | ① 東光寺地域の発展に尽くした人々の新聞を書いてみて感想を書く。<br>② 東光寺地域の一員として、自分にできることを考える。<br>③ 自分にできることを伝え合い、将来の東光寺地域の発展に希望をもつ。 | 【思】東光寺地域の一員として、自分ができることを考えたり、選択・判断したりすることを表現できる。<br>【態】学習したことをもとに、積極的に自分たちの地域のことについて考えようとしている。  |

## 6 指導に当たって

- ・児童が学習の見通しをもちやすくするために、本時の学習の流れを最初に確認する。また、本時のめあても児童に分かりやすいものにする。
- ・調べ学習をしやすいように、図書館から資料を取り寄せたり、クロームブックなどを活用したりする。
- ・グループワークを取り入れ、友達と意見を伝え合い、「主体的・対話的で深い学び」となるようにする。
- ・モニターやイラストなどを使って、分かりやすい教材掲示をする。

## 7 本時（全12時間中の第5時）

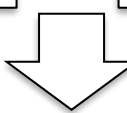
### （1）本時の目標

東光寺地域のよいところを考え、発展に尽くした人々に対する疑問をもつことができる。

### （2）本時の展開

| 時間  | ○学習活動 ・学習内容                                                                                                                                                                                                                                           | 指導上の留意点 配慮事項                                                                                                                                                                                                                                      | 評価規準（評価方法）                                         |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 導入  | ○昨年度の総合の体験を振り返る。<br>・3年生で体験した「東光寺大根」の収穫や「なし園」のことを思い出す。                                                                                                                                                                                                | ・モニターに昨年度体験したことを掲示する。<br>・PowerPoint にまとめて、視覚的に分かりやすいようにする。                                                                                                                                                                                       |                                                    |
| 展開  | ○昨年度の体験から、東光寺地域のよいところについて考える。<br>・東光寺地域のよいところを書く。<br>・付箋によいところを書き、紙に貼る。<br>・意見を整理する。<br>・まとめた意見を発表する。<br><br>○東光寺地域の発展に尽くした人々の活動を見る。<br>・東光寺地域を代表する伝統・文化や自然の発展に貢献した人々の活動をモニターで見て、学ぶ。<br><br>○東光寺地域の発展に尽くした人々に対する疑問をもつ。<br>・ワークシートに疑問に思ったことや気付いたことを書く。 | ・個人⇒班⇒全体でよいところを共有していく。<br>・班活動の際には、役割を決め、発表の人を事前に決めさせておく。<br>・付箋は、多めに用意しておき、整理しやすいように各班にペンを配布する。<br>・班ごとにまとめた付箋を黒板に掲示し、注目させる。<br>・地域の発展に尽くした人々の活躍を価値づける。<br>・黒板に東光寺地域の発展に尽くした人々とものを関連付けて掲示することで、理解しやすいようにする。<br>・時間があれば、ワークシートに書いた意見を発表し、意見を共有する。 | 【知】東光寺地域のよいところや地域発展に尽くした人々について考え、理解できる。【発言・ワークシート】 |
| まとめ | ○本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。                                                                                                                                                                                                                               | ・本時の学習で行ったことを児童と一緒に確認する。                                                                                                                                                                                                                          |                                                    |

### （3）板書計画

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>10月25日 火曜日<br/>「郷土の発展に尽くす人々⑤」<br/>めあて：東光寺のよいところを探して、<br/>発展に尽くした人々のことを考えてみよう</p> <p style="text-align: center;">＜東京都 日野市＞</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">日野市の<br/>写真</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px;"></div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px;"></div> </div> | <p style="text-align: center;">＜教えて！4年2組！＞</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">班で出したい<br/>東光寺のよいところ</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px;"></div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px;"></div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">Q. 東光寺のよいところを作って<br/>来た人々ってどんな人々？</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

「郷土の発展に尽くす人々⑤」

**めあて：東光寺のよいところを探して、発展に尽くした人々のことをよう**

○発展に尽くした人々について <メモ> ★自由に書いていいよ！

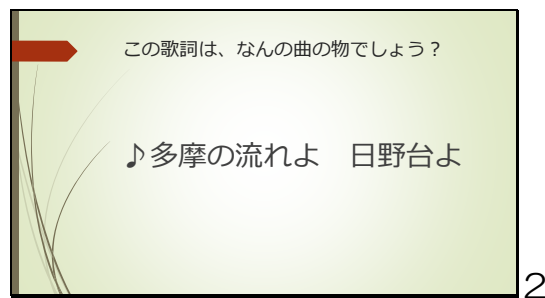
◎東光寺地域の発展に尽くした人々の活動を見て、気付いたことや疑問に思ったことを  
下を書いてみよう。★なんでもいいよ！

名前 （ ）

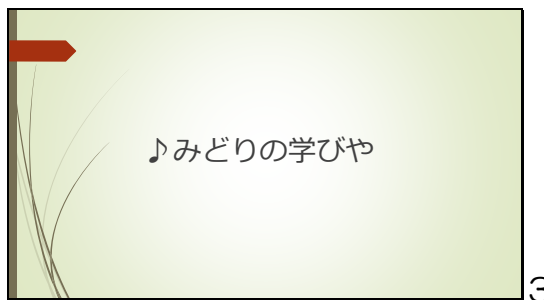
## プレゼンテーション資料①



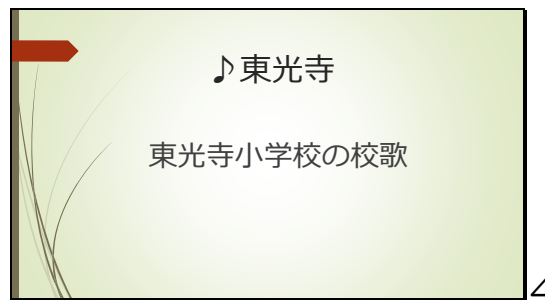
1



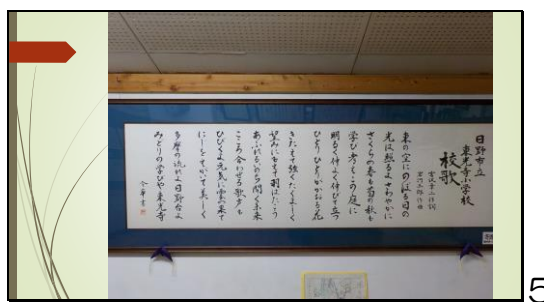
2



3



4



5



6



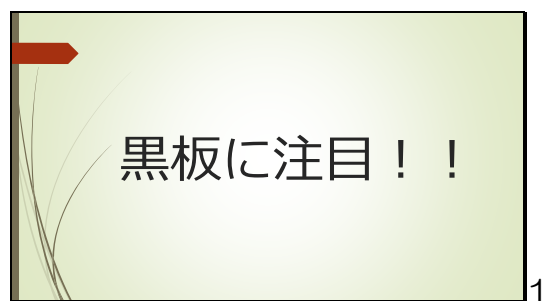
7



8



9



10

## プレゼンテーション資料②

東光寺のよいところを作って来た人々  
＜代表例＞

- ・ 日野用水
- ・ 東光寺大根
- ・ なし園
- ・ 緑地管理ボランティアの会

11

日野用水



12

佐藤 隼人  
(さとう はやと)

・ 美濃国 (みののくに 岐阜県) 武儀 (むぎ) 郡 八幡 (やはた) 村の出身の武士

・ 谷地川と合流させて上・下堰 (かみ・しもげき) 堰を作り、のちに東叡三千石 (さんぜんごく) といわれた日野本郷 (ひのほんごう) の基礎 (きそ) を作る。

・ 日野用水は永禄 (えいりく) 10年 (1567) 室町時代後期に開拓。

・ 北条氏照 (ほうじょう うじてる) の命により造られた甲州街道の前身ともいわれる街道の建設に力を尽くす。




13

東光寺大根



14

福島 幹男さん

・ 東光寺大根や様々な野菜を育てる農家

・ 昭和のころから野菜作りに貢献

・ 田野市の小学生と一緒に大根づくりや漬物作りを行っている

・ 2019年 福島さんが育てた大根が「大管祭」に供える特産品に。




15

なし園



16

奥住 方彦さん

・ 寿園 (梨園) を経営

・ 梨だけでなくキウイフルーツやぶどうの栽培も行う

・ 地域の人々や小学生などのために「梨のもぎ取り体験」を行う

・ 多くの人に美味しい果物を届ける




17

ボランティアの会



18

緑地管理ボランティアの会の方々

・ 「子供たちが健康に育つ、自然と人間が共生して行く環境を創って行きたい」

・ 里山保全活動や自然観察会などを開いたり、樹木の伐採や下草刈りなどを行う

・ 田植えや稲刈りなどを行い、地域の農家の手伝いなどもする

・ 他にも、日野市の自然を使ったさまざまな体験活動を多く行う

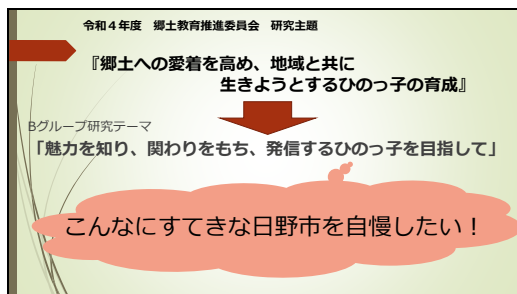
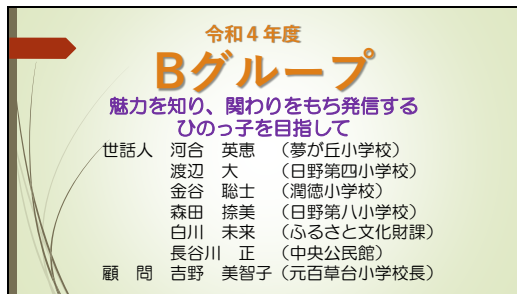



19

ワークシートに注目！！

20

## 2 Bグループの研究

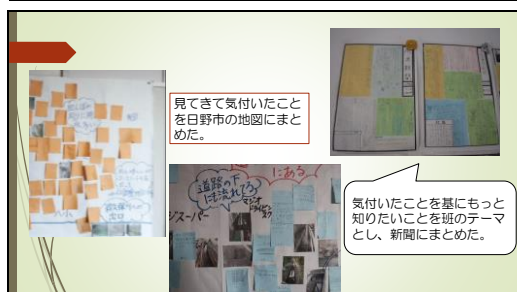


Bグループでは、今年度の研究主題を受け、郷土愛として、自分の住んでいる地域の魅力を自慢したいという思いをもつことが大切ではないかと考えました。そこで、研究テーマを「魅力を知り、関わりをもち、発信するひのっ子を目指して」とし、こんなにすてきな日野市を自慢したいという思いをもつことをねらって、授業研究を行ってきました。

各自の実践を紹介します。1例目は、学校のすぐ近くにある「万願寺の渡し公園」に着目し、普段なんとなく遊んでいる公園の名前から日野市の歴史的価値があることに気付かせ、郷土愛を育むことをねらった実践を行いました。「そんなに意味のある公園だと知らなかった。」と感想をもつ児童が多く、公園という身近な存在から、歴史的にも大切な役割を果たしていたものが地域にあることを知り、郷土愛を育むきっかけとなったと感じました。



2例目は自分たちの身近にある用水がなんのために使われているのか、用水探検を通して考えていきました。



学習の始めに、北側と南側の用水探検に行き、身近な用水の様子について見に行く活動を行いました。用水について興味や関心をもった後、班でテーマを決めて調べ、班ごとに一つの新聞にまとめました。用水の魅力や課題、これからの在り方について考えたことで、郷土愛を深めていくことができました。

**実践内容** 社会科や道徳、総合的な学習の時間を通して日野市の魅力を学び、郷土に関心をもつ

**【実践】**  
 ■小3社会科 「鉄道と共に発展した七生村」  
 夢が丘小学校 河合 英恵



京王線の発展と七生村の関係について知り、鉄道の発展とともに成長してきた七生村について理解することができた。児童は身近な交通と地域との関係を知り、郷土のことをもっと知りたがうと関心を高めていた。

3 例目は、自分たちの住んでいる七生地域のうつりかわりを学習する中で、京王線（玉南鉄道）の発展により七生村がどのように変わっていったかについて学習しました。当時の人々の思いや、京王線の発展と共に七生村も大きく変わり発展してきたことを知ること、郷土への関心を高め、「もっと知りたいな」という気持ちをもつことができました。

**Bグループ授業実践**

5年 道徳（国や郷土を愛する態度）

**「水の郷 日野市」**

日野市立潤徳小学校  
 主任教諭 金谷 聡士  
 令和4年10月25日

次に、Bグループの授業実践について報告します。  
 5年生を対象とした道徳の授業を行いました。

**研究の経緯**  
 郷土への愛着を高め、地域と共に生きようとするひのっ子の育成  
 ～魅力を知り、関わりをもち、発信するひのっ子を目指して～

**潤徳小学校の環境**  
 ⇒敷地内に「とんぼ池」  
 通学路に浅川

**総合的な学習の時間**  
 「チャレンジ！潤徳米づくり」  
 ⇒向島用水を活用

河川や用水を題材とした授業を行うことで、身近なものの魅力を再確認することができ、郷土への愛着を高めることができるのではないかと。

Bグループの研究テーマの達成のために、潤徳小学校の5年生にとって、身近なものである河川や用水を題材とすることで、日野市の魅力に改めて気づいたり、郷土を愛する態度を養ったりできるのではないかと、という仮説をたて、授業づくりに取り組みました。

**授業に向けて**

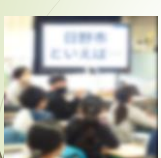
■郷土愛を高めるための授業展開の構想

■各種資料集め  
 ⇒日野市が「水の郷」に認定されているという資料  
日野市開港450周年記念特別展～日野人が守り育てた緑と清流～（平成30年 日野市教育委員会より）  
 河川や用水をきれいに保つための取り組みに関する資料  
日野市開港450周年記念誌 日野の用水（平成29年 日野市環境共生部緑と清流課より）

■昔の人の関わり方と現代の関わり方について

授業に向けた準備として、まずは、どのような教科や学習活動が効果的なのかを考えました。河川や用水をテーマとし、児童の「郷土を愛する態度」を養うためには、「自然豊かな日野市」というイメージをより具体化し、身近なものとして捉えさせていく必要があると考え、それに向けた授業展開の構想や資料集めを行いました。

**実際の授業**  
 ①導入 日野市の魅力といえば




【水の郷】認定書 平成29年（1986）3月 日野市（環境共生部 緑と清流課）所蔵

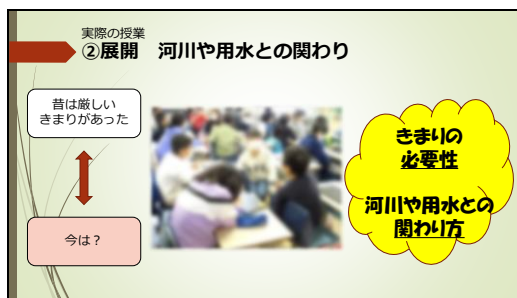
授業の導入場面です。「日野市といえば…」と児童に聞かけると、たくさんの魅力を挙げてくれました。「水の郷」の認定証を提示すると、正式にそういったものに認定されていること、東京都で水の郷は2か所しかないことなどに対し、児童からは驚きの声が上がっていました。

**実際の授業**  
 ②展開 河川や用水をきれいに保つための関わり

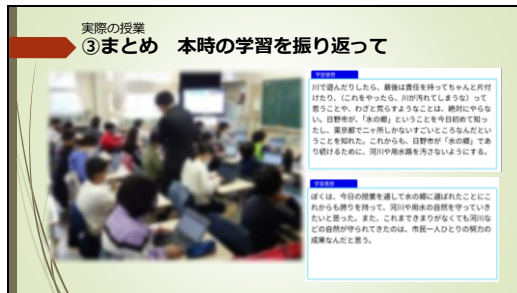


中央：ふるさと水環境館 右下：日野市水環境センター 右：清流の駅

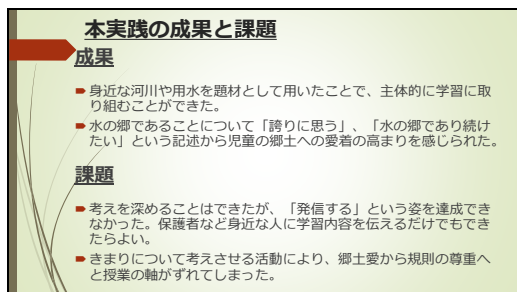
授業の展開場面の前半です。用水や河川をきれいに保つために、多くの日野市民が関わっていることを改めて確認することができました。



授業の展開場面の後半です。昔はきまりを破ると子供でも罰せられるほど、用水は大切に扱われていたそうです。昔と今を比較することを通して、きまりはあった方がいいのか、私たちは河川や用水とどのように関わっていくべきなのかを考え、友達と交流する中で、考えを深めていきました。



授業のまとめの場面です。本時の学習の振り返りはムーブノートのひろばで共有し、友達の意見にもふれることで、自身の考えをより深めていました。



本実践の成果と課題です。

成果として、

児童の振り返りには「日野市が水の郷であり続けるために」、「水の郷に選ばれたことにこれからも誇りをもって」などの記述が見られ、児童が日野市に対する愛着を深められたことが分かります。

次に課題として

本グループの研究テーマの副題としていた「発信する」という姿を、本授業では達成できませんでした。

自宅に帰り、家族に伝える、他学年の児童に向けて発信するなど何かしらの形で「発信」というところを達成できたら…という部分が課題となりました。

## 道徳科学習指導案

日 時：令和4年10月25日(火)

5校時 13:35～14:20

場 所：日野市立潤徳小学校

3階5年3組教室

対 象：第5学年3組37名

授業者：担任 金谷 聡士

研究主題（Bグループ研究副主題）

### 郷土への愛着を高め、地域と共に生きようとするひのっ子の育成

～魅力を知り、関わりをもち、発信するひのっ子を目指して～

1 主題名 水の郷 日野市 C【国や郷土を愛する態度】

2 ねらい

日野市が「水の郷」に選定された理由を知ったり、身近な河川や用水との関わり方を考えたりする活動を通して、「水の郷」としての日野市を誇りに思い、郷土を愛する心情を育てる。

3 主題設定の理由【指導観】

本主題は、小学校新学習指導要領解説「特別の教科道徳」（平成29年3月告示）

C 主として集団や社会との関わりに関すること

「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」

[小学校第5学年および第6学年]

我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと。

[中学校]

郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。

を受けて設定した。

（1）ねらいとする道徳的価値について【価値観】

自分が生まれ育った郷土は、その後の人生を送る上で心のよりどころとなるなど大きな役割を果たすものである。児童にとって、自分たちが生まれ育った日野市は親しみのもてる町であり、好きなところを問われれば各々が意見をもち、答えることができるであろうと思われる。しかし、自分たちの郷土が外から見たときにどのような姿なのか、どのような点が魅力として映るのかといったことについて考える機会というのはなかなかないものである。

本授業では、「水の郷」としての日野市の姿を題材とすることで、魅力やそれを維持するための人々の工夫、努力等に気付かせ、意識を向けさせていく。郷土を誇りに思い、愛する心情を高めるとともに、これからも郷土の魅力を保持したり、より良くしたりしていこうとするなど、主体的に郷土に関わる心情を高めたい。

## （２）児童の実態について【児童観】

本学年の児童は、地域の方々のご協力やご指導に支えられながら、総合的な学習の時間を使って米作りに取り組んでいる。活動を通して用水を活用したり、用水についての説明をしていただいたりしているため、米作りを支える大切な設備の１つであることは理解している。また、児童との会話等から、用水で生き物を捕まえた、浅川で水遊びをしたという話も耳にすることが多い。日常的に用水や河川に親しみながら生活をしているものと思われる。児童にとっては身近なもの、あって当たり前のものかもしれないが、本授業で「水の郷」としての日野市の姿を捉えさせ、その価値やすばらしさを改めて認識させることで、自分たちの故郷である日野市を誇りに、そして大切に思う気持ちを高めさせたい。

## （３）教材について【教材観】

用水を題材として扱うにあたり、どこから流れてきているのか、いつ、誰が作ったのか、どうして作られたのかなど、児童の興味や疑問は多岐にわたるものと思われる。しかし、本授業では「水の郷」としての日野市の姿を捉えることを本時展開の軸としている。長い歴史をもつ財産であることや、管理のために様々な人が携わっていることなどにポイントを絞って、資料を提示したり、発問をしたりすることにより、話題の軸がそれないように授業を展開していく。

また、用水に関して昔のきまりと比較しつつ、現代のきまりの在り方や必要性について考えさせることで、用水や河川の捉え方や関わり方をより主体的なものにしていきたい。きまりはあった方がいいのか、どんなきまりが必要か、一人一人異なるものであっても、それぞれが考えて表現したり、交流し考えを深めたりすることができれば、地域への愛着を高めることができたと言えるのではないかと考える。

## ４ 研究テーマに迫るための手立て

研究テーマである「郷土への愛着を高め、地域と共に生きようとするひのっ子の育成」に迫るため、「郷土への愛着を高める」と「地域と共に生きようとする」に分け、それぞれの捉えと手立てを考えた。

### （１）「郷土への愛着を高める」

児童達の多くは約 10 年間を日野市で暮らしている。また、3 年生の社会科をはじめとするこれまでの学習を通して日野市についての様々な学びを得てきている。日野市に対する愛着は少なからずもっているものと思われるが、それを高めるためには、日野市についてより詳しく知り、日野市の良さや特徴をしっかりと捉えることが必要であると考え。

そこで本授業では身近な存在である用水や河川を題材とし、都内でも 2 つしかない「水の郷」として選定されたことへの誇らしさを実感したり、用水や河川を美しいものとして保つために様々な人が様々な形で関わっていることを学んだりする活動を通して、

「水の郷」としての日野市の姿への理解を深めさせたい。そのために、用水や河川の写真や「水の郷」の認定証などの資料を用意し、視覚的にも「水の郷」としての日野市の姿の理解を深められるようにする。用水や河川をより身近なものとして、また、すばらしい財産として児童に捉えさせるとともに、大切にし、これから先へとつなげていこうとする心情を養いたい。

## (2)「地域と共に生きようとする」

地域と共に生きようとする姿とは、地域の良さを継承していったり、より良い形を目指して地域を発展させていったりしようとする姿勢であると捉える。現段階の児童たちにおいては継承や発展等に直接関わることは難しいものの、日野市の良さを理解して自身の言葉でまとめたり、地域の行事ごとに参加したりすることを通して、地域と共に生きようとする姿の素地を養うことができると思う。

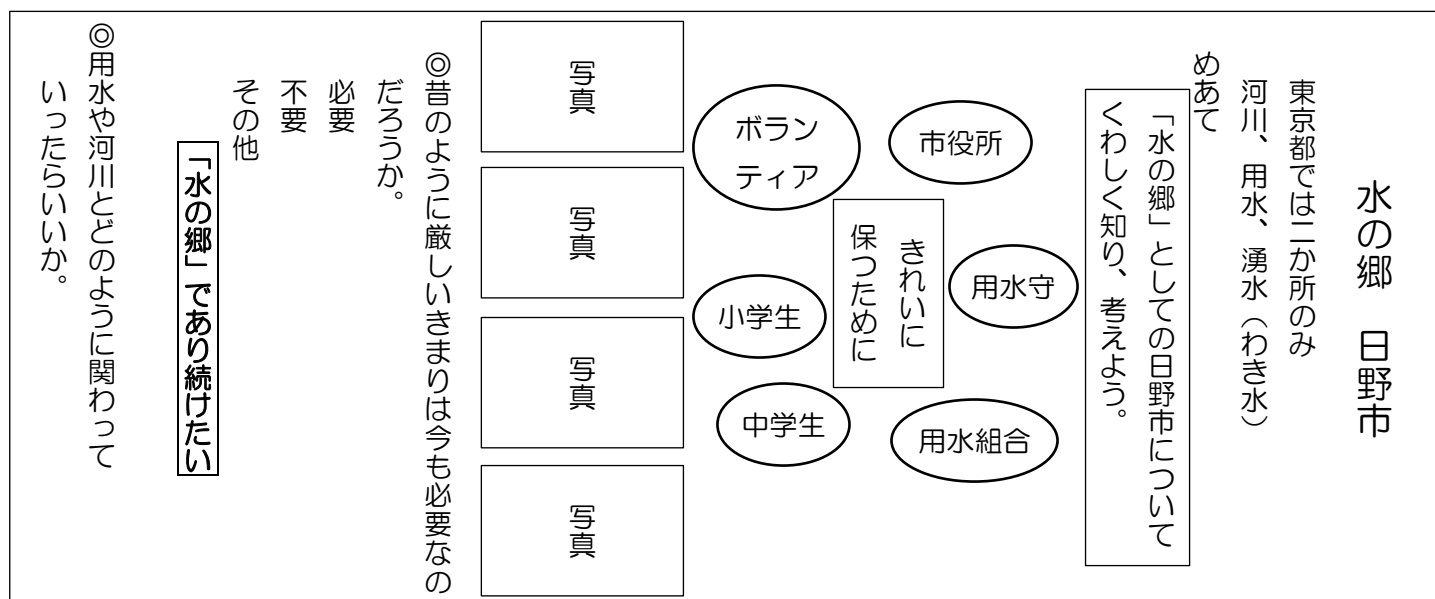
そこで本授業では展開時の活動として、用水のきまりについて考えさせる。昔のように厳しい罰が伴うような決まりが必要なのか、現代風に変えたきまりが必要なのか。きまりとして定めるのではなく市民が協力してきれいに保つことで、「汚したくないな、汚してはいけないな。」と人々に思わせるようにしていくのか。身近な用水に関してどのように管理していくべきなのか、どんな意識をもつことが大切なのかについて考える活動を通して、児童一人一人が自分の言葉で表現し、地域の課題を主体的に捉え、地域と共に生きようとする心情を高めていくことを期待する。

## 5 学習指導過程

|                             | 学習活動（主な発問・予想される児童の発言）                                                                                                                        | ◇指導上の留意点 ★評価                                                                                                   |
|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入<br>7分                    | <b>1 日野市の魅力について話し合う</b><br>○皆さんの住む日野市の魅力は、どんなところだと思いますか。<br>・多摩動物園があること。<br>・多摩モノレールや京王線が通っているところ。<br>・自然が豊かなこと。                             | ◇自由な発言で魅力がたくさんあることを確かめつつ、「自然」や「川」、「用水」といった言葉が出てきたら、本時の題材である「水の郷」の話題へとつなげる。                                     |
|                             | <b>2 日野市が「水の郷」であることを知り、選定理由を想像し、話し合う</b><br>○なぜ日野市は「水の郷」に選定されたのでしょうか。<br>・川が多いから。<br>・用水がたくさんあることも関係あるかも。<br>・川や用水が身近で、うまく管理しながら生活に生かしているから。 | ◇東京都で「水の郷」として選定された自治体は2つしかないことを押さえ、名誉なことであることを確認する。<br>◇必要に応じて、日野市で水といえど何か、どんな場面で水と関わっているかなどを想起させ、理由を想像しやすくする。 |
| 「水の郷」としての日野市についてくわしく知り、考えよう |                                                                                                                                              |                                                                                                                |

|                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>展開<br/>23<br/>分</p> | <p><b><u>3 「水の郷」をきれいに保つための取り組みについて知る</u></b><br/>         ○どんな人が関わることで用水や河川はきれいにたもたれているのでしょうか。<br/>         ・市役所の人とか。<br/>         ・清掃日があるのかな。<br/>         ・ボランティアでやってくれている人もいる。</p> <p><b><u>4 昔の「きまり」についての資料を読み、「きまり」の必要性について考える</u></b><br/>         ○厳しい「きまり」は今も必要でしょうか。<br/>         ・事情が違うから厳しくする必要はない。<br/>         ・放っておくと用水や河川がきたなくなってしまうからあった方がいい。<br/>         ・今のところ簡単なきまりだけでもきれいに見えるから、なくてもいいと思う。</p> | <p>◇認定証の「地域を挙げて」という言葉に着目させ、考えるきっかけとする。</p> <p>◇仕事で取り組んでいる方もいれば、ボランティアとして無償で協力している方もいることを押さえる。</p> <p>◇美しく保たれている用水や河川などの写真を提示することで、「水の郷」としてのすばらしさを実感できるようにする。</p> <p>◇昔のきまりには「子供でも厳しく罰する」という記述があることから、問題提起していく。<br/>         （資料「日野の用水」2017年）</p> <p>◇昔と現在では食料生産に伴う用水の必要性に違いがあることをおさえる。</p> <p>◇きまりの有無に関わらず、用水や河川はきれいに保つべきものであることを全体で確認できるようにする。</p> <p>★用水との関わり方について考え、自身の言葉で表現しようとしている。<br/>         【発言】</p> |
| <p>終末<br/>15<br/>分</p> | <p><b><u>5 用水や河川との関わり方について考える</u></b><br/>         ○私たちは用水や河川とどのように関わっていったらいいのでしょうか。<br/>         ・簡単なきまりや清掃日などを決めて、みんなできれいに保ちたい。<br/>         ・きれいに保ち、今後も「水の郷」としての日野市であり続けたい。<br/>         ・一人一人が「水の郷」に誇りをもって関わっていくことが大切だと思う。</p>                                                                                                                                                                                  | <p>◇本時の学習を通して学んだことや感じたこともあわせて記述するように指導する。</p> <p>◇ムーブノートを活用することで、学級全体で共有しやすくする。</p> <p>◇友達の考えを読む時間を設けることで、多様な考えに触れて自身の考えをより深められるようにする。</p> <p>★「水の郷」としての日野市の姿をふまえ、学んだことやこれからの関わり方などについて自身の言葉で表現しようとしている。<br/>         【発言、ムーブノート】</p>                                                                                                                                                                          |

## 6 板書計画



## 7 授業観察の視点

- 題材は郷土への愛着を高めるためのものとして適切であったか。
- 用水や河川との関わり方について考える活動は、地域と共に生きようとする姿へとつながるものであったか。
- Chromebook の活用場面、活用方法は適切であったか。

### 3 Cグループの研究

**令和4年度  
Cグループ**

**郷土をもっと知ろうとする幼児、児童の育成**

世話人 澤久保 敦（平山小学校）  
田中理紗子（第七幼稚園）  
北川のぞみ（日野第六小学校）  
小高 圭太（南平小学校）  
浅野 佑弥（旭が丘小学校）  
飯田 千尋（多摩平図書館）  
顧問 倉田 満（元渋谷区立常盤松小学校長）

**令和4年度 郷土教育推進委員会 研究主題**

**『郷土への愛着を高め、地域と共に  
生きようとするひのっ子の育成』**

**Cグループ研究テーマ**

**「郷土をもっと知ろうとする幼児、児童の育成」**

**研究内容**

- 社会科・総合的な学習の時間を通して、日野の農業や食糧問題について考える（小学校）
- 日野の昔話を通して、郷土に関心をもつ（幼稚園）

**〈実践〉**

- 小4総合「平山陸稲を育てよう」 平山小学校 澤久保 敦  
平山陸稲の栽培体験と探究活動を通して、平山陸稲のことを深く知り、郷土への愛着を高める実践。
- 小4総合「Let's go すずかけ米大作戦」 南平小学校 小高 圭太  
稲作体験を通して、地域に伝わってきたお米作りを学び、郷土の理解と愛着を高める実践。
- 小5総合「地域の工業調査隊！」 旭が丘小学校 浅野 佑弥  
日野・旭が丘の歴史について調べる活動を通して、郷土を誇りに思う児童の姿を目指す実践。
- 幼稚園「日野市に伝わる昔話を知ろう！」 第七幼稚園 田中理紗子  
日野市に伝わる昔話に触れる機会を通して、郷土への関心を高める実践。

**実践① 小4総合  
「平山陸稲を育てよう」**

実践者：日野市立平山小学校 澤久保 敦

**農業体験**



「畑で育てられるのってすごい！」  
「稲ってこんな姿に育つんだ！」  
⇒平山陸稲のことを栽培や観察を通して体験的に知る。

**探究活動**



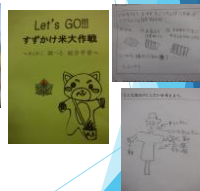
平山陸稲について自分が調べたいテーマを設定し、探究活動を行う。  
⇒平山陸稲について関心を高めたり、平山陸稲の良さや素晴らしいことに気付くことができた。

**実践② 小4総合  
「Let's Go!すずかけ米大作戦」**

実践者：日野市立南平小学校 小高 圭太



地域で農家をされている方をゲストティーチャーとして招き、5月から12月までの約8か月間、もみ種の選別作業から収穫までを教えていただいた。  
体験的な活動を行いながら、自分自身で課題を見つけ、課題を解決することができた。



Let's Go!すずかけ米大作戦  
「米の歴史」  
「米の生産」  
「米の消費」  
「米の未来」

今年度の郷土教育推進研究委員会の研究主題「郷土への愛着を高め、地域と共に生きようとするひのっ子の育成」を受けて、Cグループでは「郷土をもっと知ろうとする幼児、児童の育成」という研究テーマを設定し、学習を通して郷土への関心を高めていける幼児、児童の姿を目指して研究を進めてまいりました。

研究内容です。Cグループでは、社会科や総合的な学習の時間に農業や食糧生産に関わる学習を行っていることが共通してあげられました。これらの学びを日野市や地域での農業・食糧問題と関連付けて考えていけるよう研究をしてきました。これより各校の実践内容について報告させていただきます。

平山小学校では、毎年4年生が農業体験として、地域に伝統的に伝わる平山陸稲の栽培を行っています。実際に平山陸稲を栽培したり観察したりする中で、平山陸稲への関心を高めることができました。また、栽培以外でのまだ知らない平山陸稲の秘密について、自分が調べてみたいテーマを設定し、グループを作って探究活動を行いました。探究活動を通して、農業体験だけでは気付かなかった平山陸稲の魅力に気付くことができ、平山地域の良さを感じることができました。

南平小学校では、地域の方より「米作り」について学びました。籾だねの選別から、田おこし、田植え、稲刈りの仕方を教えてもらい、体験しながら、自分たちで疑問に思ったことを調べたり、考えたりすることができました。お米を使った料理づくりや案山子づくりなどを行い、古くから行われてきた稲作を身近なものとして体験することで農業への知識を深めるとともに、自分が住んでいる地域の良さを再発見し、郷土への愛着を高めることができました。

**実践3 小5総合**  
**「地域の工業調査隊！」**  
 実践者：日野市立旭が丘小学校 浅野 佑弥

＜ねらい＞ 児童が地域や郷土を知り、誇りをもち、進んで関わろうとする態度を育てる。

＜学習の流れ＞

- ① 日野・旭が丘の歴史を知る
- ② グループに分かれ調べ学習
- ③ マップを作り発表

写真  
郷土資料館提供

旭が丘小学校では、まず、自分たちの住んでいる町について聞いてみました。すると、「この町は何もないからなあ。」という意見が多く出ました。そこで、日野市は明治時代、生糸の生産が盛んだったことや、財政悪化を立ち直すために工場誘致をしたことを児童に伝えました。さらに、旭が丘にある工場は日本を代表する工場であることや、工場誘致・開発と歌人巽聖歌との関係についても触れました。その後、グループごとに分担をして工場の概要を調べ、最終的にマップにしてまとめました。調べ学習や制作活動を通して、自分の住んでいる町に興味をもち、自分たちの町を誇りに思うような児童が増えました。

**実践4 幼稚園4歳児クラス**  
**「日野市に伝わる昔話を知ろう！」**  
 実践者：第七幼稚園 田中理紗子

ねらい：日野市に伝わる昔話に触れ、住んでいる土地に関心をもつ

地域の昔話の朗読サークルに所属している幼稚園先生に、サークルオリジナルの昔話を話してもらった。

日々の保育の中でも『神明様のお告げ』等、昔話を伝える時間を設けてきた。

保護者の方にも知ってもらえる機会となるように、保護者参加の行事で日野市のお寺にまつわる昔話を話した。

日野市には昔から伝わるお話がたくさんあることが分かった。地図上に昔話が伝わる場所のイラストを貼っていった。

第七幼稚園では、日野市の昔話を取り上げ、既存の紙芝居やスライドで伝えてきました。まずは日野市に関心をもてるように、日野市の形や第七幼稚園の場所を伝えました。また、園の用務員さんが所属されている朗読サークルの昔話を話してもらう機会を設けました。旭が丘付近に伝わる昔話がなく実際の場所に行くことが難しいため、家庭でも話題となるように、保護者参加の行事でお寺にまつわる昔話を話しました。その後、日野市にまつわるお話がたくさんあることが視覚で分かるように、地図上にイラストを貼っていきました。

**研究授業**  
**〈実践内容〉**  
 小5総合「Change Food ～身近な食品ロスについて考えよう」  
 実践者：日野市立第六小学校 北川のぞみ

＜ねらい＞ 地域の課題を見付け、それを解決しようとする態度を育てる。

＜指導の流れ＞

教科の学習 米づくり体験 5人のゲストティーチャーによる話

社会科「未来を変える食料生産」理科「生命のつながり」

話し合い

研究授業の報告をします。5年生の総合的な学習の時間で身近な食品ロスについて考えさせる学習を行いました。ねらいは、地域の課題を見つけ、それを解決しようとする態度を育てることです。郷土の昔や今について学ぶだけでなく、これからを考えさせることで郷土の一員としての自覚をもつことにつながるのではないかと考えました。社会や理科の学習につながる米づくり体験を行ったり、5人のゲストティーチャーから話を聞いたりして本物に触れることで、より自分事として捉えられるようにしました。

**研究授業**  
**〈ゲストティーチャーの話を聞いた児童たちの感想〉**

- ・地産地消は、自然環境を守ることにつながっているから、産地を気にしようと思った。
- ・嫌いな人でも食べれる工夫やフードバンク、無人販売所があることを広めていきたい。
- ・作った人が対策をしているから、買うほうも責任をもって残さないようにしたい。
- ・感謝や有難さを忘れないようにしたい。

＜自分たちで考えた解決方法＞

- ・日野産野菜を使った給食メニューを考える！
- ・食品ロスについて知らせるポスター、お便りを作る！
- ・図書館で食品ロス関係の本のコーナーを作る！

ゲストティーチャーから話を聞いた児童達の感想を見ると、「産地を気にしようと思った。」「作った人が対策をしているから、買うほうも残さないようにしたい。」等、自分事として考え、これからの行動を考え直す姿が見られました。話し合いを重ね、まず校内の人に食品ロスについて知ってもらうことが大切だと考えた児童たちは、食品ロスを知らせるポスターを作成するなどの解決方法を考え、現在取り組んでいます。

#### 成果と課題

##### 〈成果〉

- 地域人材の活用  
→地域の人材を活用することで、地域理解を促進することができた。
- 未来を考える学習  
→地域の未来について考えることで、郷土への愛着を高めることができた。
- 地域の課題に取り組む活動  
→身近な地域にある課題を取り扱うことで、自分事として課題を受け止め、主体的・対話的な話し合い活動が行えた。

#### 成果と課題

##### 〈課題〉

- 各校ごとの活動を情報共有できるとよかった。  
→それぞれの学校の活動を共有し、他校の取り組みを自校に生かすことでよりよい活動を行うことができるようにする。
- 課題を解決する方法で終わってしまった。  
→課題解決の方法だけでなく、その地域の人々の思いや願いを大切にしていくことも必要である。

研究の成果です。

まず、地域人材の活用です。

各小学校、幼稚園において地域の方をゲストティーチャー等として招いたことでそれぞれが取り組んでいる学習や活動への力になるだけでなく、郷土のよさを直に聞くことが出来ました。

次に、未来を考える学習です。

郷土学習というと、郷土の歴史等に関心が行きがちですが、自分たちの住み続ける郷土として捉えた時、今ある課題を未来に向けての解決することなども大切だということが分かりました。

最後に、地域の課題に取り組む活動です。

学習課題を地域にある課題として設定したことで、より身近な課題として受け止め、自分達に解決できることないかと考えながら、課題に対して主体的に取り組むことができました。

次に、課題についてです。

まずは、情報共有の課題です。

小学校や幼稚園で地域人材の活用を行っていましたが、その取り組み内容について共有することが難しいと感じました。

それぞれの地域人材をどのように生かしたか連絡を取り合うことができれば、よりよい活用の仕方が見付けられたのではないかと考えました。

次に、学習の中で課題解決の方法ばかりに児童の関心がいったしまったことです。

解決の方法だけでなく、「郷土について」を考えるのであれば、その地域に住む人々の思いや願いにも重きをおいて考える必要があると考えました。

# 第5学年 総合的な学習の時間 学習指導案

令和4年11月29日（火）第5校時

日野市立日野第六小学校第5学年2組36名

授業者 教諭 北川 のぞみ

## 「郷土への愛着を高め、地域と共に生きようとするひのっ子の育成」

### ～郷土をもっと知ろうとする幼児・児童の育成～

#### 1 単元名 「ChangeFood ～身近な食品ロスについて考えよう～」

#### 2 単元の目標

- ・自分たちが住む地域や農業について調べ、地域の食糧問題やその解決に向けた取り組み、携わる人々についての理解を深める。（知識・技能）
- ・地域の食糧問題を解決するために自分たちができることを考えることができる。また、情報を取捨選択し、自分の思いを明確に相手に伝えることができる。（思考力・判断力・表現力等）
- ・身近な食糧問題や取り組みについて興味をもち、解決しようと取り組むことができる。（学びに向かう力、人間性）

#### 3 単元の評価規準

| 評価の観点         | 評価規準                                                                                                                           |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ア 知識及び技能      | ・日野市の農業や食への取り組みが分かる。（ア－①）<br>・農家の方々の努力や工夫があることが分かる。（ア－②）<br>・話し合いの目的を理解し、自分の考えを伝えようとしている。<br>（ア－③）                             |
| イ 思考力、判断力、表現力 | ・日野市の農業や食について聞いたことを整理分析し、自分たちにできることを考えている。（イ－①）<br>・身近な食品ロスについて自分の考えをもち、その考えを明確に相手に伝えることができる。（イ－②）                             |
| ウ 学びに向かう力、人間性 | ・身近な食品ロス問題を解決したり、理解を深めたりするために、自分たちの願いや目標を定め、主体的・協働的に取り組んでいる。（ウ－①）<br>・日野市の食品ロス解決の学習活動を通して、食料の大切さに気付き、学んだことをさらに追究しようとしている。（ウ－②） |

## 4 児童の実態

本学級の児童は、明るく素直で、学習に意欲的で新しいことにも興味をもって取り組む児童が多い。話し合い活動では、自由に意見を出すのが得意な児童とそうでない児童の差が大きく、そうでない児童は、意見を聞くだけになってしまうという課題がある。友達の意見を受け入れ、自分の考えを深めたり、自ら質問したり意見を述べたりするなど、協働的に学ぶことについても課題が見られる。そこで、本単元では、個人で考える時間を設けることで、自分の意見を整理し自信をもって話せるようにすることで話し合い活動の促進を図る。

児童は、4年生の総合的な学習の時間では、「SDGs」とは何かについて学習し、17項目の中から自分が興味をもった項目について調べて学習を行っている。5年生1学期には、興味をもった食糧問題を調べてクロムブックにまとめている。食糧問題についての基本的な知識はあるものの、自分事として捉え、適切な課題を設定することには、課題がある。そこで、学校栄養士や農家の方など専門的な知識をもつ方と直接かかわることを通して、自分事と捉え、自分たちが取り組めることを考えさせるようにする。また、友達や地域の方々など様々な人々と力を合わせて課題解決をしていくなかで、常に自分の考えと比較し、よいと思ったら積極的に受け入れ、より良い方向を協働的に模索していくことのよさを実感させたい。

## 5 単元について



SDGs 12「つくる責任つかう責任」の3「2030年までに、お店や消費者のところで捨てられる食料を半分に減らす。また、生産者からお店への流れのなかで食料が捨てられたり、失われたりすることを減らす。」

5年生では、社会科で農業や漁業について、理科では植物、総合的な学習の時間ではバケツ稲の栽培を行っており、自分たちにとって身近な食料についての学習が多い。日野市は海がないため水産業は盛んでないが、農業は東京都の中でも盛んでさまざまな農作物が生産されている。しかし、本校の学区は中央線の駅前で住宅街のため、田や畑がほとんど見られない。その学区で育った児童たちは、日野市で農業が行われているについて知識がほとんどなく、保護者が農業従事者という児童もいない。人間にとってなくてはならない食料を作る農業が身近でない児童が多い。そこで、食についての学習が多くある5年生の総合で「食糧問題」をテーマに学習を進めることにした。

今年度はまず、「総合って何だろう」ということを考えることから始めた。自分たちで話し合いながら、「課題の設定」、「情報の収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」していくことを確認した。1学期は、まだ他教科での学習が始まっていなかったため、食糧問題について自分たちで調べる活動を行った。「食品ロス」「貧困」「農家減少」「海洋汚染」等さまざまな問題を見つけた。日本だけでなく東京や日野市の食糧問題についても調べさせ、児童が自分事として考えられるようにした。本単元では、単元の最初に調べたことを発表し、最も多くの児童が調べ、自分たちにとっても身近な食品ロス問題を扱うことを決定する。「自分たちで考える」、「地域の人とふれあう」、「友達と考えを交流する」ことを大切に指導していく。日野市の食糧問題への取り組みを調べている児童が数名いたが、世界や日本のことに比べ情報が少ない。そのため、児童はもっと日野市の食について知りたいという思いをもっている。本単元では、学校栄養士や農家の方など専門的な知識をもつ方に直接話を聞ける機会を作る。

3学期には、自分たちで考えた身近な食品ロスへの取り組みを実行する。実際に自分たちが責任をもって取り組むことのできる課題をみんなで考えていく。

## 6 指導について

本単元では、①「教科横断的な学習」、②「協働的な学習」、③「郷土教育」の3つの視点で指導を工夫していく。

### ① 「教科横断的な学習」

児童は、社会科の「未来を支える食料生産」の学習を通して我が国の農業や水産業における食料生産の現状について理解を深めてきた。また、総合的な学習の時間では並行してバケツ稲の栽培を行っている。食べ物を育てる実体験や学習で身に付けた知識と結び付けて考えられるようにする。国語の「対話の練習」で、自分の考えを主張したり相手の意見を受け止めて自分の意見を改めて考えたりする活動も行った。自分の意見をもち相手に伝えることを国語以外でも意識できるよう、他教科においても話し合い活動を多く取り入れる。

### ② 「協働的な学習」

本単元では話し合い活動を多く取り入れている。他者の意見を聞き、異なる視点から考えたり、意見を交流させたりする活動を通じて、他者と協働して課題解決に取り組む力を育てていく。話し合い活動は①にも関係する。国語科の言語活動の充実に繋げ、伝達したり、表現したりする力も同時に育むことを目指す。他者との関係性を意識させることでクラス運営にも生かしていく。

### ③ 「郷土教育推進委員会」の研究テーマに迫るための手立て

本単元では、子供たちの考えが教室の中だけで終わらない「オーセンティックな学び」ができる学習内容にした。本校の児童は、日野市で農業が行われているについて知識がほとんどなく、保護者が農業従事者という児童もいない。農業や漁業が身近でない子供たちが本物に触れ、自分事として問題解決的な活動に取り組めるように設定した。作物栽培の苦労と工夫を聞くことで、日野市の農業や農家の方々の努力や工夫があることを理解させる。また、学校給食関係者と相談しながら、取り組みを進めることで日野市の学校給食の取り組みを学ぶ。その中で社会科の学習を関連付けて「地産地消」の重要性にも気付かせたい。

日野市の農業や学校給食について理解を深めた後は、自分たちにできる取り組みを考えさせる。話し合いながら、その取り組みにはどんな効果があるかを検討させる。その過程で地域に対する思いを深めることができると思う。

## 7 指導計画（13時間扱い）

|   | ○主な学習活動と内容                                   | ・支援、留意点（評価）                                              |
|---|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 1 | 【課題設定】〔3時間〕<br>○1学期各自が調べた食糧問題について班で発表し、共有する。 | ・クロムブック使用して発表し、友達の考えを伝えさせる。<br>・各テーマで一人程度ゼンタイに紹介する。（イー②） |
| 2 | ○みんなで調べたことをまとめ、課題を食品ロスに決定する。                 | ・テーマは食品ロスに決定するが、貧困問題など他の問題とつながりがあることを指導する。（ウー①）          |
| 3 | ○誰にどんなことを聞くかを考える。                            | ・自分たちが食品ロスの取り組みを行う上で必要なことを聞くよう指導する。（アー③）                 |

|              |                                                                                                 |                                                        |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 4            | <p>【情報の収集】〔5時間〕</p> <p>○バケツ稲の栽培でかかわっている農家の小林さんに話を聞く。</p> <p>日野市の農業が盛んなことや主な生産物について理解する。</p>     | <p>・日野市の農業、農家の食品ロスについて話していただくように、事前をお願いします。（アー①、②）</p> |
| 5            | <p>○給食員から学校給食の取り組みについて聞く。日野市では、地域と連携して食品ロス問題に取り組んでいることや栄養士がみんなの苦手なものも食べられるように工夫していることを理解する。</p> | <p>・給食の食品ロスについて話していただくように、事前をお願いします。（アー①）</p>          |
| 6            | <p>○フードバンク多摩の方に話を聞く。</p> <p>日野市のフードドライブや食品ロスへの取り組みを理解する。</p>                                    | <p>・事前に質問の内容を送付する。（アー①）</p>                            |
| 7            | <p>○ローソン SDGs 推進室の方に話を聞く。</p> <p>企業の食品ロスへの取り組みを理解する。</p>                                        | <p>・事前に質問の内容を送付する。（アー①）</p>                            |
| 8            | <p>○トマト農家の馬場さんに話を聞く。</p> <p>農家では、食品ロスが起きないような取り組みをしているのかを理解する。</p>                              | <p>・日野市の農業、農家の食品ロスについて話していただくように、事前をお願いします。（アー①、②）</p> |
| 9            | <p>【課題解決に向けての話し合い】（5時間）</p> <p>○食品ロスを解決するためには、何をすればいいかを話し合う。</p>                                | <p>・児童が調べた単元の始めに調べた食品ロスの削減の取り組みを振り返る。（イー①）</p>         |
| 10<br>本<br>時 | <p>○自分たちにできる食品ロスへの取り組みを話し合う</p>                                                                 | <p>・日野市や学校の解決に効果的な取り組みを考えさせる。（イー①、②）</p>               |
| 11           | <p>○自分たちにできる食品ロスへの取り組みを話し合い、取り組みを決定する。</p>                                                      | <p>・実際に自分たちが取り組むものとして適切かを考えさせる。（アー①）</p>               |
| 12           | <p>○取り組みの具体的な内容を話し合う。</p>                                                                       | <p>・実際に自分たちが取り組むものとして適切かを考えさせる。（イー②）</p>               |
| 13           | <p>○具体的な内容を話し合い、3学期にできることを考える。</p>                                                              | <p>ウー②</p>                                             |

## 8 本時の指導（全10時間中第13時間目）

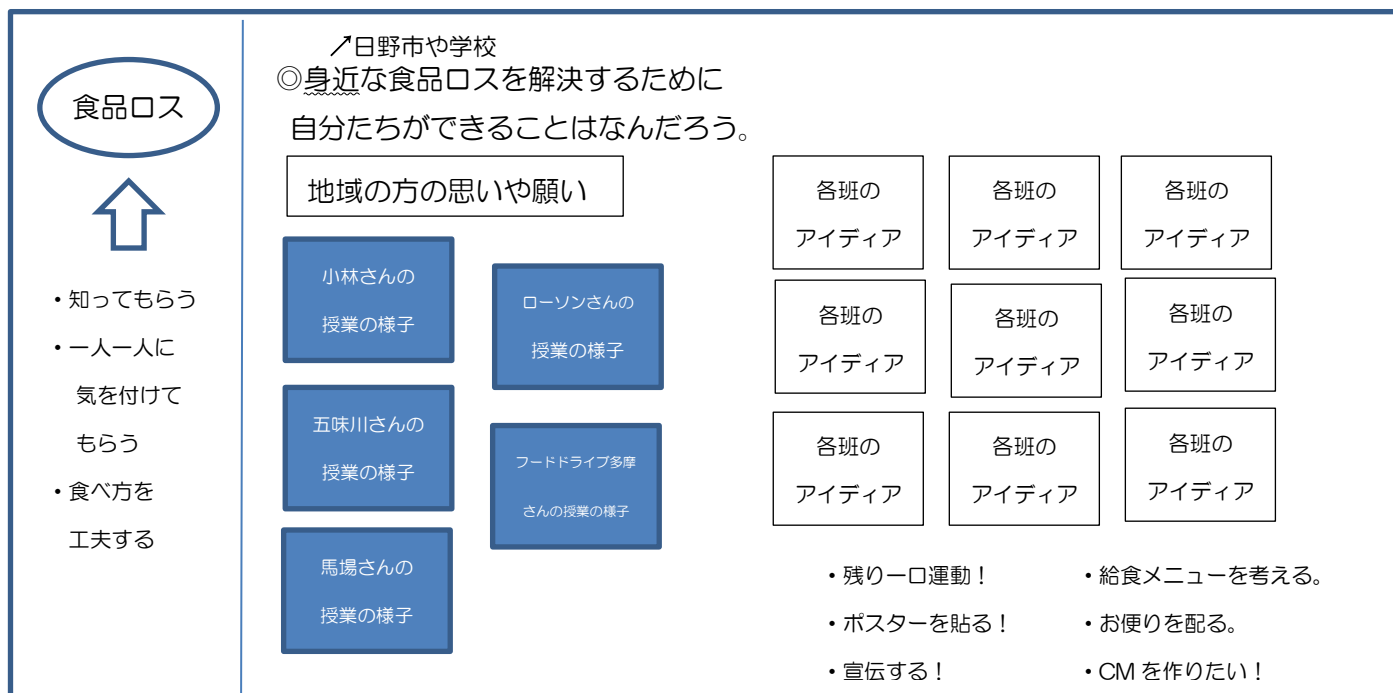
### （1）本時のねらい

身近な食品ロスを解決するために、自分たちができることを具体的に考える。

### （2）本時の展開

|           | 学習活動 ・児童の反応                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ○指導上の留意点 ◎評価（評価方法）                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入<br>10分 | <p>1 前学期の活動を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食品ロスをなくすためには、残さないように一人一人が気を付けないといけない。</li> <li>食品ロスを知ってもらう。</li> </ul> <p>2 本時のめあてを確認する</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | <p>○前時の話し合いの記録を書画カメラで写し、前時の内容の振り返りがスムーズに行えるようにする。</p> <p>○自分たちが取り組むことをより実現可能で効果的なものでないといけないことを確認し、本時のめあてにつなげる。</p>                                                                                                                                                           |
|           | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>身近な食品ロスを解決するために自分たちができることはなんだろう。</p> </div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 展開<br>30分 | <p>3 栄養士さんや農家さんの話を思い出し身近な食品ロスについて確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校の残飯がある。</li> <li>採ったけど売れないものもあるんだって。</li> <li>日野市が食品ロスの取り組みもやっていたね。</li> </ul> <p>4 個々で自分たちにできる取り組みを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsについて知ってもらおう。</li> <li>日野市の野菜の宣伝をする。</li> </ul> <p>5 グループで自分たちにできる取り組みを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動画で野菜の宣伝をするといいかも。</li> <li>捨てられる食材を使って何か考えられないかな。</li> </ul> <p>6 クラス全体で自分たちにできる取り組みを共有する。</p> | <p>○それぞれの方の思いや取り組みを思い出しやすいようスライドでインタビューした際の様子を見せる。</p> <p>○学校内だけでなく、日野市の食品ロスをなくす取り組みを考えられるよう助言する。</p> <p>◎身近な食品ロスを解決するための方法を考えている。（発言・観察）</p> <p>◎身近な食品ロスについて自分の考えをもち、その考えを明確に相手に伝えることができる。（発言・観察）</p> <p>○日野市や学校の食品ロス問題の解決のために効果的かどうか考えさせる。</p> <p>○見やすいよう書画カメラで画用紙を映す。</p> |
| まとめ<br>5分 | <p>7 今日の話し合いの振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合ってみて、私は給食のメニューを考えてみたいと思った。</li> <li>校内にポスターで宣伝したいと思った。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | <p>○個別に声掛けを行い、自分がやりたい取り組みを一人一つは考えがもてるようにする。</p>                                                                                                                                                                                                                              |

### (3) 板書計画



### (4) 授業観察の視点

- ・教材は、郷土への愛着を高めるためのものとして適切であったか。
- ・食品ロス問題について考える学習は、地域と共に生きようとする姿へつながるものであったか。

## 総合⑤

5年 組 (

)

やってみたい取り組み

振り返り

・学習後の自分の考え

・したいこと

・疑問

| 話し合い | 月 | 日 |
|------|---|---|
|      |   |   |
|      |   |   |
|      |   |   |
|      |   |   |

やってみたい取り組み

振り返り

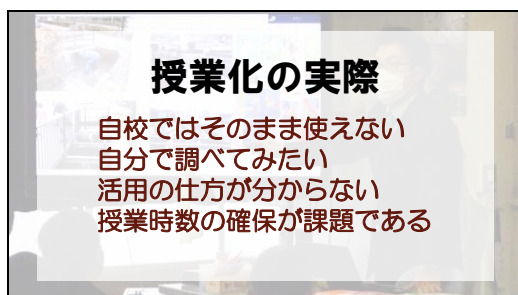
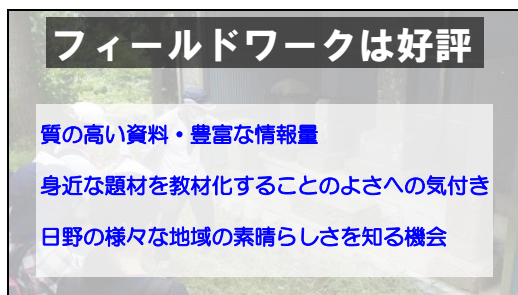
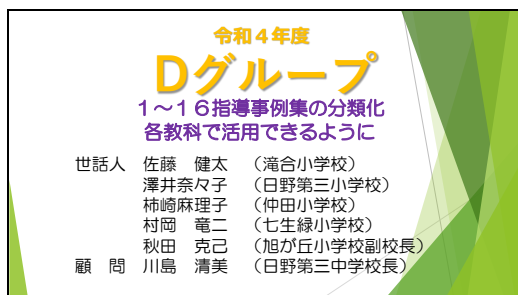
・学習後の自分の考え

・したいこと

・疑問

| 話し合い | 月 | 日 |
|------|---|---|
|      |   |   |
|      |   |   |
|      |   |   |
|      |   |   |

## 4 Dグループの研究



Dグループではこれまで作成した指導事例集を各教科等で活用できるように分類化しました。これを基に、市内の先生方に活用していただけるよう検索システムを構築いたしました。

郷土教育推進研究委員会では夏季休業日にフィールドワークを行い、参加された先生方から好評を得ているところです。講師からの質の高い資料と豊富な情報、教材化の視点をもった研修が充実した内容になっています。身近な題材のよさを授業に活かすことが必要であること強く感じ、教材研究をしていきたいといった感想を聞くことができます。市内各所のフィールドワークを行うことを通して、日野の様々な地域の素晴らしさを知る機会となっています。

しかし、フィールドワーク後の感想からは次のような意見も出されています。今後の授業に活かしたいが自分の学校ではそのまま使えない。自分で地域を調べてみたいが時間がとれない。どのように活用したらよいか分からない。面白そうだが授業時数の確保が課題であると感じる。……といった問題点が見受けられます。

教育センターのWebページに、これまで17年間の指導事例集を公開しています。これらの資料の内容は膨大であり、これから教材研究を始めようとする先生方にはどこから読み始めるとよいか分からなくなってしまいます。Dグループでは本市のGIGAネットワーク上に、教材研究で活用できるような「索引」のような仕組みを構築してきました。その一部を御紹介いたします。(ここで検索システムの紹介)

検索システムを紹介させていただきます。Googleドライブの共有ドライブ上に、全校教職員共有フォルダがあります。

そこから、郷土教育推進研究フォルダに入ると、検索用郷土教育指導事例集を開くことができます。

過去の指導事例が全てPDFファイルで格納されていますので、参考になさってください。



さらに、調べたいキーワードを指定して、フォルダ内の指導事例を検索することも可能です。

右上の、検索オプションボタンを押します。場所を先ほどの「検索用郷土教育指導事例集」に指定し、調べたいキーワードを「含まれている語句」欄に入力します。

“ダブルクォーテーション”で語句を区切ると、複数のキーワードでの検索も可能です。

（ここでは“多摩平” “4年”で検索をかけています）

最後に検索ボタンを押すと、指導事例集の中から、タイトルや本文にキーワードが含まれている指導事例が一覧となって表示されます。

今後の展開です。一点目は、構築したデータを公開して先生方に使っていただくようにすることです。二点目はデータの追加です。今後の研究で追加された実践資料と授業で使える写真等のデータも加えていきたいと考えています。

## 今後の展開

- ▶ 構築した検索システムの公開
- ▶ 教材研究での実用化
- ▶ 新たな実践データの追加
- ▶ 写真等を検索可能にする

## V 1 課 2 館との連携

### 1課2館との連携

- ふるさと文化財課 図書館 中央公民館
- 毎回の委員会にメンバーとして参加
  - 授業づくりのための情報や資料提供
  - 夏季研修会への協力



フィールドワークに参加して



委員会のグループの委員として

### ふるさと文化財課（郷土資料館・新選組のふるさと歴史館）と学校との連携

郷土資料館や新選組のふるさと歴史館の見学など

- ・社会科見学 昔の道具など（小3）・社会科 歴史学習（小6）
- ・総合的な学習の時間—職場体験（中2）
- ・総合的な学習の時間—地域学習（中1）
- ・生活単元学習—地域の施設利用（中2）
- ・平山陸稲脱穀体験授業への協力（わかば教室小・中、教育センター）

館外での出張授業

- ・総合的な学習の時間—ふるさと七生を知ろう（小3）
- ・社会科—かわる道具とくらし（小3）

1 課 2 館との連携について御紹介します。1 課 2 館とは、ふるさと文化財課に加えて、図書館、中央公民館のことです。

毎回の委員会に委員として参加し、授業づくりのための情報及び資料を提供しました。夏季研修会では、ふるさと文化財課の学芸員が、事前に参考資料の提供やフィールドワークの付き添いや、午後の研修会にもグループ研究で助言を行いました。専門的視野の助言は、日野の歴史に対する教員の理解が深まり、「子供たちへの授業につなげたい。」との思いが高まりました。

ふるさと文化財課として郷土資料館、新選組のふるさと歴史館の特色を生かした小中学校教育との連携協力を行っています。具体的には小学校3年生の社会科「昔の道具」の実物、6年生の歴史学習での展示品等で授業づくりに協力をしています。中学校とは職場体験、地域学習の場として協力しています。教育センターとは平山陸稲の脱穀体験授業での郷土資料館の収蔵農具を提供し、使い方等の説明と実演指導も行いわかば教室の体験授業に連携して協力しています。

さらに、小学校3年生の社会科出張授業という形で館外でも連携協力の活動を行っています。

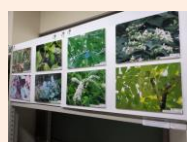
郷土資料館、新選組のふるさと歴史館の特色とそれぞれの職員が専門性を生かして学校と連携した郷土教育の推進を行っています。

活動の一端をご紹介します。職場体験の中学2年生の展示と出張授業での実物展示の一部です。

図書館では毎月、月替わりでテーマを決めて展示を行っています。郷土教育の取り組みとして、多摩平図書館では、12月の1か月間、「日野市」をテーマとして展示を行いました。日野市を紹介している本や、日野市に縁のある方の著作を100冊程度集めて、展示・貸出をしました。利用者の方からは、「この本に日野市が登場しているなんて知らなかった。読むのが楽しみだ」という感想をいただきました。展示している本を読むことによって、日野市に興味・関心をもち、愛着を深めることにつながれば、と思っています。

また、展示と合わせて、日野市に関係する本を自分で探すときに助けになる案内も作成し、展示している本の上に掲示しました。

作成した案内は、日野市に関係する本に貼ってあるシールの説明と、日野市の資料コーナー・多摩平団地コーナーの書架案内です。



職場体験の中学2年生4人の生徒が植物写真を選択して郷土資料館で展示

出張授業 3年社会科くらしと道具の移り変わる。生活道具や昔の写真で紹介



### 図書館での取組

- 多摩平図書館入口正面にある展示コーナーにて「日野市」をテーマとして本の展示・貸出を行った。（12/1～12/28、100冊程度展示）
- 日野市を紹介している本・日野市民の著作を集めた。
- 日野市関係資料の案内を作成
  - ・目印になるシールの紹介

・書架案内

（日野市の資料コーナー・多摩平団地コーナー）



# 1 課2館の連携 平山陸稲栽培（ふるさと文化財課・中央公民館）

## 1 平山陸稲栽培

### 平山陸稲栽培体験学習



地植えもある田植え 紫の芒が特色の稲穂と稲刈り 足踏み式脱穀機

- 鎌で稲を刈った時の感覚が気持ちよかった。
- もちもちとした食感で自然の香りがしていた。

明治の終わりに、平山村の林丈太郎という篤農家が発見し、日本全国に広がっていたのが平山陸稲です。その功績をしのぶとともに、平山陸稲を知り、丈太郎の心に思いを馳せようと、郷土資料館の協力も得てわかば教室の子供たちが陸稲づくりに取り組みました。

子供たちが種籾をまいて苗を作りました。6月に比較で地植えとコンテナボックスに田植えをしました。その後、水やりや見守りを通して順調に生育し、出てきた稲穂は、平山陸稲の特徴である、紫色の長い芒をもっていました。10月に稲刈りをし、12月に脱穀体験をしました。子供たちは進んで働きました。精米をして試食しました。

子供たちは学習を振り返り、「鎌で稲を刈った時の感覚が気持ちよかった。」「もちもちとした食感で自然の香りがしていた。」と初めての鎌体験や陸稲試食などの感想を書いていました。

### 【陸稲栽培暦】

| 作業、活動等    | 内 容                   | R4年度   | 備 考        |
|-----------|-----------------------|--------|------------|
| 種の選別      | 真水に浸けて沈んだ種を選ぶ         | 5月10日  |            |
| 浸種        | 10～15℃の真水に浸ける         | 5月10日  |            |
| 苗床準備      | 浅いコンテナボックスに極小赤玉土、水    | 5月10日  | N8P8K8 肥料入 |
| 播種        | 苗床に均一にばらまく            | 5月11日  | 1週程度で発芽    |
| 水やり       | 水が減ってきたらつぎ足す          |        | 汲み置き温めた水   |
| 田植え準備     | 深いコンテナボックスに黒土7分目、水    | 6月16日  | 肥料を混ぜて代掻き  |
| 田植え       | 苗2～3本を束にし、ボックスに25か所   | 6月17日  | 鉛筆持ちで深植え   |
| 追肥        | 地植え、コンテナボックスの土の上にばらまく | 7月13日  | 水遣り、病虫害監視  |
| 追肥        | //                    | 8月10日  | 8月10日に出穂   |
| 支え作り      | 稲が倒れぬよう四隅に支柱、横棒を渡す    | 9月20日  | 21日と二日間    |
| 網掛け       | 鳥害防止のため全体に網で覆う        | 9月22日  | 鳥の侵入防止の為   |
| 水切り       | 水やりを止め、米を熟成させる        | 9月22日  |            |
| 稲架（はさ）の準備 | 干すための横棒、鳥よけのネット設置     | 10月上旬  | 水濡れ防止カバー   |
| 稲刈り       | 刈り取って束にし、稲架にかけ干す      | 10月20日 | 公民館の鎌を借用   |
| 脱穀、籾摺り、精米 | 千歯こき、脱穀機、籾摺り機、精米機で    | 11月24日 | 機械は郷土資料館   |
| 試食        | 家庭科室で炊飯して試食           | 12月6日  | 子供たちの感想    |

### 公民館職員による実技指導



### 全体を網掛けして鳥の害を防ぐ



# 1 課 2 館の連携 多摩平図書館

## 2 図書館の活動

### 「日野市」をテーマとした展示の実践

多摩平図書館 飯田千尋

#### 1 はじめに

図書館は郷土に関する資料や情報を蓄積し、提供する機能・役割を担っている。行政資料に限らず、日野市民の著作や日野市が紹介されている本なども収集しているが、一般の図書と混ざって配架されるものが多いため一般の図書に埋もれてしまい、あまり注意を引かなくなっているのが現状である。そこで、多摩平図書館では、12月1日から12月28日までの間、「日野市」をテーマとした本の展示・貸出を行った。

#### 2 展示

図書館では、各館それぞれが毎月テーマを決めて、本の展示・貸出を行っている。

多摩平図書館では、12月1日から12月28日までの間、「日野市」をテーマとして取り上げた。日野市を紹介している本や、日野市在住の方の著作、日野市に関係がある人が紹介されている本などを100冊程度集めた。利用者の方から、「この本に日野市が登場しているなんて知らなかった。読むのが楽しみだ」という感想をいただいた。

#### 3 案内

展示と合わせて、日野市に関係する本を自分で探す際に助けになる案内も作成し、展示本の棚の上に掲示した。

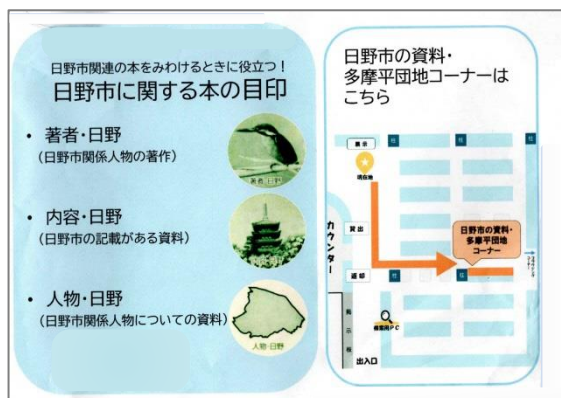
作成した案内は2点ある。1点目は、日野市に関する本のある本に貼ってあるシールの紹介である。図書館では、「日野市関係人物の著作」「日野市の記載がある資料」「日野市関係人物についての資料」

「日野市内の出版社の出版物」に目印としてそれぞれシールを貼っている。

2点目は、多摩平図書館内の「日野市の資料コーナー・多摩平団地コーナー」への地図である。多摩平図書館では2021年度より、隣接する多摩平団地に関する資料を集めたコーナーを日野市の資料コーナー横に設置している。

#### 4 おわりに

今回のテーマ展示によって、図書館には日野市に関係のある本が数多く所蔵されていることを知ってもらうことができた。展示してある本を取るによって、日野市に興味・関心をもち、愛着を深めることにつながれば幸いである。



## Ⅵ 研究の成果と今後の課題

### 研究の成果と今後の課題

#### 成果

- 子供たちに郷土への関心や愛着を育てる授業を工夫できた。
- 第3次日野市学校教育基本構想の切り口で研究を進めることができた。
- 日野市の地域理解と郷土の歴史を深めることができ、教材開発力等委員自身の学びが深まった。
- 1課2館の情報や助言が研究を深めることにつながった。

#### 課題

- 郷土教育が目指す授業に向けての更なる指導方法と指導計画の工夫改善のための研究をする。
- 社会、総合的な学習の時間、各教科で郷土教育に取り組めるように、郷土教材を開発作成する。
- 指導事例集のデータベースを活用する研究をする。

研究の成果と課題について述べます。

成果としては、「子供たちに郷土への関心や愛着を育てる指導の工夫で、研究主題に迫ることができた」

「子供たちの問いを、子供たちなりの方法で調べ考えて答えにたどり着くというような第3次日野市学校教育基本構想の切り口で研究を進めることができた」

「委員自身が郷土教育推進研究やフィールドワークを通して日野市の地域理解と郷土の歴史を深めることができ、教材開発力等深い学びに結び付いた」「1課2館の情報や助言で研究が深まった」ということが挙げられます。

また、今後の課題としては、今年度行った授業や以前に開発した実践をさらに磨きをかけていけるように

「郷土教育が目指す授業に向けての更なる指導方法と指導計画のための研究をする」「社会、総合的な学習の時間、各教科で郷土教育に取り組めるように、郷土教材を開発作成する」「指導事例集のデータベースを活用の研究をする」ことが挙げられます。

## Ⅶ 個人研究

所属（ 豊田小学校 ）授業者（磯村 俊介）（ A ）グループ

|                                                                                                                                                                                                          |                         |            |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|------------|
| 学年 3年                                                                                                                                                                                                    | 教科 道徳科                  | 単元名 D 自然愛護 |
| 学習テーマ 自然にやさしく                                                                                                                                                                                            | 使用教材資料 ホタルの引っこし（東京書籍3年） |            |
| 具体的な取り組み内容                                                                                                                                                                                               |                         |            |
| <p>学習前、「自分たちの身の回りの自然にはどのようなものがあるか」アンケートを採り、自分達と自然との関りを想起させた。導入時、日野市の豊かな自然を紹介することで、内容項目に対する関心を高めた。 終末では、教師の説話として、日野市の水が汚れてしまっている時期にはカワセミが日野から見られなくなっていたこと、日野市のみなさんの努力によって美しい水が戻り、カワセミが見られるようになった話をした。</p> |                         |            |
| 考察                                                                                                                                                                                                       |                         |            |
| <p>自己の振り返りで、日野市の自然との関りを思い出し、これからも日野市の自然を大切にしていきたいと考える児童がいたことを考えると、日野市の自然に目を向けさせたことは、日野市に愛着をもたせたり、日野市のために役立とうとする思いを育むことの一助になったと考えられる。</p>                                                                 |                         |            |

所属（ 日野第四小学校 ）授業者（渡辺 大）（ B ）グループ

|                                                                                                                                                                                                                                                            |                |              |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|--------------|
| 学年 4年                                                                                                                                                                                                                                                      | 教科 道徳          | 単元名 万願寺の渡し公園 |
| 学習テーマ 郷土愛を育む                                                                                                                                                                                                                                               | 使用教材資料 公園の写真資料 |              |
| 具体的な取り組み内容                                                                                                                                                                                                                                                 |                |              |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・自分たちの町にある公園の写真を見て話し合う。</li><li>・学校のすぐ近くにある「万願寺の渡し公園」の名前に着目させ、なぜ、このような名前がついたか話し合う。</li><li>・万願寺渡し公園の由来を知り、昔、とても重要な場所であったこと、後世まで伝えていきたいという思いがあることを考えさせる。</li><li>・自分の町で大切にされているものや、それを大切に思う人々の気持ちについて考えている。</li></ul> |                |              |
| 考察                                                                                                                                                                                                                                                         |                |              |
| 身近にある公園の意外な一面から話し合ったことで、郷土愛を育むきっかけとなった。                                                                                                                                                                                                                    |                |              |

所属（ 夢が丘小学校 ）授業者（河合 英恵）（ B ）グループ

|                                                                                                                                                                                                                                                           |                 |                  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|------------------|
| 学年 3年                                                                                                                                                                                                                                                     | 教科 社会           | 単元名 鉄道と共に発展した七生村 |
| 学習テーマ 交通の歴史や昔のくらしから自分の住む地域のことを理解する。                                                                                                                                                                                                                       | 使用教材資料 わたしたちの日野 |                  |
| 具体的な取り組み内容                                                                                                                                                                                                                                                |                 |                  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・日野市の昔の地図や年表、写真などから七生村の歴史や特徴について知る。</li><li>・京王線の歴史や発展の様子と七生村の関係について知る。</li><li>・昔の道具を見たり、実際に触れたりすることで、昔の道具について興味をもつ。</li><li>・興味をもった道具について調べ、今と昔の道具のよさに気付く。</li><li>・調べたことを発表し、昔の人々の生活や発展するための努力などを理解する。</li></ul> |                 |                  |
| 考察                                                                                                                                                                                                                                                        |                 |                  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・身近な鉄道を取り上げたことで興味をもち、高い意欲をもって学習に取り組むことができた。</li></ul>                                                                                                                                                               |                 |                  |

所属（ 日野第八小学校 ）授業者（森田 捺美）（B）グループ

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |              |                        |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|------------------------|
| 学年 4 年                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 教科 総合的な学習の時間 | 単元名 用水について考えよう～用水のひみつ～ |
| 学習テーマ 身のまわりの用水について考えよう                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 使用教材資料       | 日野の用水 ・どろんこクラブ         |
| <p>具体的な取り組み内容</p> <p>1学期に用水についての学習を行った。そして、用水がなんのために作られているものなのかを知ることができた。2学期は、八小の周りにも用水が多くあることについて触れ、北側と南側の用水探検に行き、気付いたことを地図にまとめる活動を行った。まとめた内容から、用水についての課題を決め、班のテーマとし、調べた内容を一枚の新聞にまとめさせた。最後は、これからの用水について考え、児童からは「きれいな用水を守っていくために、ゴミ拾いやポスターを作って呼びかけていきたいな」という声や、「多くの生き物がいるのを知って、守っていきたい」という声が聞こえてきた。3学期には、自分たちができることをどのように発信していくことができるのか考え、学習を終えたいと思っている。</p> <p>考察</p> <p>児童が普段遊んでいる公園や、通学路で通っている場所にある用水を題材としたことで、より関心をもって学習に取り組むことができていた。また、実際に用水探検に行ったことで、用水を守っている人々の存在や、用水の使い道について改めて知ることができた。しかし、自分たちにできることはどのようなことか考え、発信するまでには至りませんでした。3学期も継続して学習が進んでいくため、児童が自分ごととして考えることができる授業にしていこう。</p> |              |                        |

所属（中央公民館高幡台分室）授業者（長谷川 正）（B）グループ

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |        |     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----|
| 学年                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 教科     | 単元名 |
| 学習テーマ 平山陸稲栽培体験                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 使用教材資料 | 農具  |
| <p>具体的な取り組み内容</p> <p>稲刈りに使用する「ノコギリ鎌」を貸し出して、安全な使い方の説明をさせてもらった。稲刈り時には前かがみの姿勢になるため、その体勢で稲穂を握ると親指が稲の根本側に来るように握りがちになるが、そのように握ると下側に親指が突き出すようになるため、鎌で親指を傷つけてしまう可能性が大きくなる。稲刈りの時は必ず親指が稲穂側に来るように握ります。（公民館が毎年実施している稲作事業「田んぼの学校」で指導して頂いている農家さんから教わりました）</p> <p>考察</p> <p>わかば教室の先生たちから子供たちへの指導につながり安全指導に役立てることができた。実演することでポイントを的確に伝えることができた。</p> |        |     |

所属（ 平山小学校 ）授業者（澤久保 敦）（ C ）グループ

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |        |                   |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------------------|
| 学年 4 年                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 教科 総合  | 単元名 平山陸稲を育てよう     |
| 学習テーマ 郷土の伝統に誇りをもつ                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 使用教材資料 | 歩こう 調べよう ふるさと七生 他 |
| <p>具体的な取り組み内容</p> <p>平山地域で伝統的に育てている平山陸稲の栽培と平山陸稲についての探究学習を行った。平山陸稲の栽培では、平山陸稲の特徴や生長の様子を栽培体験を通して学ぶことができた。探究学習では、栽培体験では分からなかったことや調べたいことをテーマとして、グループで計画を立てて調べ学習を行った。調べたことはグループごとに作品にまとめ、学級内で発表会を行った。</p> <p>考察</p> <p>栽培、探究学習ともに意欲的に取り組む様子が見られ、歴史ある平山陸稲の良さを感じることができたと感じる。探究のための資料をもっと用意できればよかったということと、発信の機会を広げられるとよかったと感じた。</p> |        |                   |

所属（ 第七幼稚園 ）授業者（田中理紗子）（ C ）グループ

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |                                                 |     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------------------|-----|
| 学年                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 4 歳児 | 教科                                              | 単元名 |
| 学習テーマ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 昔話   | 使用教材資料・「日野のむかしばなし」パンフレット<br>・朗読サークル「ひの」オリジナル紙芝居 |     |
| 具体的な取り組み内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      |                                                 |     |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・日野市に親しみの気持ちや関心がもてるように、日野市の形や第七幼稚園のある場所を、地図を用いて伝えるとともに、日野市に昔から伝わるお話がたくさんあることを伝え、お話の場所がどこにあるのかが視覚的に分かるように、地図上にイラストで提示していった。</li><li>・自園の用務員さんが地域の昔話朗読サークルに所属しており、サークルでオリジナルの紙芝居を作成されていたので、園児にスライドを用いて昔話を話してもらう機会を設けた。</li><li>・保護者が関心をもち、家庭でも話題に出したり実際の場所に行ってみたりすることにつながるように、保護者が参加する行事の中で、「金剛寺ののぼり竜」「宝泉寺のもちあげ観音」というお寺にまつわる昔話を話す時間を設けた。</li></ul> |      |                                                 |     |
| 考察                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |      |                                                 |     |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・日野市に伝わる昔話について興味をもって聞く姿が見られた。今後も日野市に関心をもち、郷土を大切にしたい気持ちにつながるように、いろいろな昔話にふれる機会をつくっていききたい。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                |      |                                                 |     |

所属（ 日野第六小学校 ）授業者（北川 のぞみ）（ C ）グループ

|                                                                                                                                                                                                                                                             |            |    |           |     |             |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|----|-----------|-----|-------------|
| 学年                                                                                                                                                                                                                                                          | 5 年        | 教科 | 総合的な学習の時間 | 単元名 | CHANGE FOOD |
| 学習テーマ                                                                                                                                                                                                                                                       | 食糧問題（食品ロス） |    | 使用教材資料 なし |     |             |
| 具体的な取り組み内容                                                                                                                                                                                                                                                  |            |    |           |     |             |
| 地域の課題を見つけ、解決しようとする態度を育てることをねらいに、地域の食品ロス問題について扱った。日野市の農家 2 名、給食室チーフ 1 名、ローソン SDGs 推進室の方 2 名、フードバンク多摩の方 1 名をゲストティーチャーとして招き、食品ロスの現状や取り組みについてお話しをしてもらった。その話から、自分たちで取り組めることは何かを話し合う課題解決学習を行った。子供たちからは、「食品ロスを知らない人がいるからまずは知ってもらいたい。」「フードバンクマップを作りたい。」等たくさんの意見が出た。 |            |    |           |     |             |
| 考察                                                                                                                                                                                                                                                          |            |    |           |     |             |
| 地域のこれからを考える授業を行ったことで、郷土の一員としての自覚を高められた。一方で子供たちの中で知らせる方法の話が中心になっていたため、ねらいを大切にしたり、ゲストティーチャーの思いを生かしたりすることができるような指導が必要である。                                                                                                                                      |            |    |           |     |             |

所属（ 旭が丘小学校 ）授業者（浅野佑弥）（ C ）グループ

|                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |                                                               |    |                                 |          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------|----|---------------------------------|----------|
| 学年                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 5年 | 教科                                                            | 総合 | 単元名                             | 地域の工業調査隊 |
| 学習テーマ                                                                                                                                                                                                                                                                              |    | 地域社会を支える人々や組織とその思いを知り、地域に対する誇りや愛着をもち地域の一員として進んで行動しようとするようにする。 |    | 使用教材資料<br>「歩こう調べよう ふるさと七生（第3版）」 |          |
| 具体的な取り組み内容<br>日野市や旭が丘にある工場は日本を代表する工場であることや、工場誘致・開発と歌人巽聖歌との関係について、パワーポイントを使って児童に説明した。その後、グループごとに分担をして日野市や旭が丘にある工場の概要を調べ、最終的にグループでマップにまとめてまとめた。<br>考察<br>調べ学習や制作活動を通して、自分の住んでいる町に興味をもち、自分たちの町を誇りに思うような児童が増えた。制作したマップは学級内の発表や掲示のみに留まってしまったため、地域に向けて発信する機会を設定できると、さらに郷土教育の推進につながると考える。 |    |                                                               |    |                                 |          |

所属（ 日野第三小学校 ） 授業者（澤井奈々子）（ D ）グループ

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                 |                                   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-----------------------------------|
| 学年 3年                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 教科 社会・総合的な学習の時間 | 単元名 ふるさとの自まんを探ろう～梨博士・東光寺大根博士になろう～ |
| 学習テーマ 農家の仕事                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                 | 使用教材資料                            |
| <p>具体的な取り組み内容</p> <p>①社会科「農家の仕事」の単元、及び、総合的な学習の時間の発展教材として、地域の梨作り農家と東光寺大根農家の仕事を見学・体験させてもらい、農家の方の1年間の仕事を知る。</p> <p>②生産者の梨作りや東光寺大根作りに対する願いや苦労、仕事の工夫について学んだことを、学習カードや「日野市の農作物PRポスター」にまとめる。</p> <p>③調べた内容や体験した内容を振り返り、これからの自分の生活にどう生かしていきたいかを1人1台端末を使用してまとめ、友達と意見を交流する。</p> <p>考察</p> <p>農家の方に直接インタビューさせてもらったり、実際に種まきや草取りの経験をさせてもらったりすることで、農家の方の願いや苦労、仕事の工夫に高い興味・関心をもちながら学習に取り組むことができた。また、日野市の特産物である梨と東光寺大根に愛着を抱くと共に、食べ物を大切に作る心と農家の方への感謝の気持ちをもつことができた。</p> |                 |                                   |

所属（ 滝合小学校 ） 授業者（佐藤健太）（ D ）グループ

|                                                                                                                                                                                                                                                         |                    |                         |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|-------------------------|
| 学年 4年                                                                                                                                                                                                                                                   | 教科 社会科             | 単元名 受けつがれる祭り～武蔵府中くらやみ祭～ |
| 学習テーマ 既定教材を地域学習につなげる                                                                                                                                                                                                                                    | 使用教材資料 『わたしたちの東京都』 |                         |
| 具体的な取り組み内容                                                                                                                                                                                                                                              |                    |                         |
| <p>副読本『わたしたちの東京都』に沿って武蔵府中くらやみ祭を題材とした学習を展開した。その中で、昔から受け継がれてきた祭にはどのような意味や人々の願いが込められているかについて児童は捉えた。日野市内にも、同様の昔から受け継がれてきたものはないかと疑問をもち、高幡不動尊について調べる学習へと発展させた。社会科見学で一年前に訪れた場所ではあるが、学習の視点を明確にすることで、学びを深めることができた。また、さらに身近な地域にはどのようなものがあるか、自主的に調べようとする児童もいた。</p> |                    |                         |
| 考察                                                                                                                                                                                                                                                      |                    |                         |
| <p>学年が上がると学習範囲が広がっていくが、身近な地域を題材とした学習を行うことで、さらに学びが深まると考えられる。</p>                                                                                                                                                                                         |                    |                         |

所属（ 仲田小学校 ） 授業者（柿崎麻理子）（ D ）グループ

|                                                                                                                                        |                                       |                   |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|-------------------|
| 学年 3年                                                                                                                                  | 教科 総合的な学<br>習の時間                      | 単元名 なかだの自然と友達になろう |
| 学習テーマ 郷土の自然を知り、大切に<br>しようとする児童を育成する。                                                                                                   | 使用教材資料 仲田小学校校歌<br>Web サイト「日野どんぐりクラブ」等 |                   |
| 具体的な取り組み内容                                                                                                                             |                                       |                   |
| ・仲田の森蚕糸公園での生き物探し、興味をもった生き物を調べる学習（図書資料、web 検索）<br>・クロームブックでまとめて各自発表、学習発表会で仲田小周辺の自然や生き物について発表（テ<br>ーマ：昆虫や植物、水辺の生き物、※蚕の生態や飼育）※総合的な学習の時間 蚕 |                                       |                   |
| 考察                                                                                                                                     |                                       |                   |
| 仲田の森で体験的活動をさせたり、郷土の自然の良さが込められた校歌の歌詞に着目させたり<br>したことや、学習発表会と関連させたことで、児童が主体的に郷土の良さを知り、多くの人に伝<br>えたいという思いで学習に取り組むことができた。                   |                                       |                   |

## ～ 編集後記 ～

### 【加藤 信秀：郷土教育推進研究委員会担当指導主事】

郷土教育推進研究委員会委員の皆様は、「郷土への愛着を高め、地域と共に生きようとするひのっ子の育成」をテーマに、研究を進めてきました。日野の自然・歴史・文化・産業など、日野を題材にした授業を通して、子供たちは日野の魅力を感じることができたと思います。また、これまでの指導事例集を授業づくりに活用できるよう、検索システムを構築しました。今回、報告された皆様の実践や指導事例集検索システムを校内に広げるとともに、さらなる郷土教育の推進を期待しております。

結びに、本委員会の研究推進に当たり貴重なご指導・ご助言を賜りました顧問の先生方、日野市の郷土教育の充実・発展にご尽力いただきました委員の皆様には感謝申し上げます。

### 【秋田 克己：郷土教育推進研究委員会副委員長 旭が丘小学校副校長】

今年度は当初の計画を全て実施することができました。夏のフィールドワークで委員が同一行動をとれたことは感動を共にしたよき機会となりました。FMラジオを活用して講師の説明を聞きやすくしたことは効果的な学びができる新たなスタイルとして今後に生かすことができそうです。この1年間に3本の研究授業を実施しました。過去から現在にかけてのものを取り扱っていましたが、

未来志向の授業ができたことは価値のある取組でした。これまで教材研究の手引として当事例集は17集を数えました。授業に必要な情報を取り出しやすくするよう、検索システムを築きました。資料を参考にして、子供たちにとって身近な材から実感をともなう思考ができる授業を多くの先生方に実践していただきたいと願っています。各小学校から選出された委員の皆様、授業づくりにあたりご協力いただいた1課2館の皆様の熱意に感謝申し上げます。

## 裏表紙の写真

7月27日（水）夏季研修会  
午前 日野用水フィールドワーク

7月27日（水）夏季研修会  
午後 小杉顧問による講義

10月25日（火）研究授業  
会場：東光寺小学校

10月25日（火）研究授業  
会場：潤徳小学校

11月29日（火）研究授業  
会場：日野第六小学校

## 郷土教育推進研究報告書

令和4年度（2022年度）

## 「郷土日野」指導事例

～第17集～

令和5年3月31日発行

日野市立教育センター  
郷土教育推進研究委員会

